

bizhub PRESS /

1250/1052

オペレーションクイックガイド



第1章 ご使用いただく前に

第2章 コピーする

第3章 プリントする

第4章 スキャンする

第5章 困ったときには

第6章 付録

本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店
もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものと
お取替えいたします。



もくじ

はじめに	iv
ご挨拶	iv
ページの見かた	vi
本文中の記号について	vi
原稿と用紙の表示について	vii
よく使う便利な機能	viii
小冊子機能	viii
折り機能	xi
インデックス紙への印字	xv
くるみ製本機能	xvi
ページごとに設定を変更してプリントする	xvii
スキャンデータを E-mail に添付して送る	xvii
スキャンデータをコンピューターの共有サーバーに送る	xvii
第 1 章 : ご使用いただく前に	1-1
電源の ON/OFF	1-2
電源を入れる	1-2
電源を切る	1-3
トレイに用紙をセットする	1-5
用紙について	1-5
坪量と用紙種類について	1-6
用紙サイズと枚数について	1-7
本体トレイに用紙をセットする（トレイ 1、トレイ 2）	1-7
ペーパーフィーダユニット PF-703/PF-706 に用紙をセットする（トレイ 3～トレイ 8）	1-9
インデックス紙をセットする	1-13
用紙設定	1-16
用紙設定の概要	1-16
用紙条件を登録する：用紙条件登録／削除	1-17
トレイにデフォルトの用紙設定を設定する：トレイ設定	1-19
トレイ設定と異なる用紙設定を設定する：用紙予約設定	1-25
表裏調整を行う	1-29
チャート調整を行う	1-32
プロセス調整を行う	1-36
片寄り検知設定とカール調整を行う	1-41
エアーブローを設定する	1-43
第 2 章 : コピーする	2-1
小冊子機能を使う	2-2
小冊子機能を使ってコピーする	2-2
こんなことができます	2-3
折り機能を使う	2-4
用紙を Z 折りにする	2-4
用紙を重ね中折りにする	2-5
用紙を重ね三つ折りにする	2-7
こんなことができます	2-9
インデックス紙を使う	2-10
インデックス紙にコピーする	2-10
製本する	2-12
くるみ製本を設定する	2-12
こんなことができます	2-16



第3章 : プリントする	3-1
プリンタードライバーについて	3-2
プリンタードライバーのインストール	3-3
プリンタードライバーのインストール	3-3
プリンタードライバーの印刷設定画面	3-9
印刷設定画面を表示する	3-9
装置情報の更新	3-10
小冊子機能を使う	3-12
小冊子機能を使ってプリントする	3-12
こんなことができます	3-13
折り機能を使う	3-14
折り機能を使ってプリントする	3-14
こんなことができます	3-15
インデックス紙を挿入する	3-16
10ページごとにインデックス紙を挿入する	3-16
こんなことができます	3-19
ページごとに設定を変更してプリントする	3-20
5ページ目の設定を変更する場合	3-20
製本する	3-23
PS Plug-in ドライバーの場合	3-23
PCL ドライバーの場合	3-24
こんなことができます	3-27
第4章 : スキャンする	4-1
ネットワークスキャナー機能	4-2
E-mail アドレスへの送信	4-3
スキャンデータを E-mail に添付して送る	4-3
SMB サーバーへの送信	4-7
スキャンデータをコンピューターの共有サーバーに送る	4-7
第5章 : 困ったときには	5-1
トナーを補給する	5-2
トナー補給方法を確認する	5-3
ジャム処理	5-4
モアレの発生を防ぐ	5-8
ToneCurve Utility を使用する	5-9
給紙、排紙のトラブル	5-12
エアーブロー	5-12
カール調整	5-12
RU カール調整	5-12
加湿設定	5-12
表裏の位置を調整する	5-13
[表裏調整] 機能を使う	5-13
折り、とじ位置、断裁量を調整する	5-14
設定がうまく機能しない	5-16
ネットワーク接続について	5-16
その他のトラブルについて	5-17



第6章 :付録	6-1
ネットワーク設定について	6-2
TCP/IP 設定を行う	6-2
SMB 設定を行う	6-4
E-mail 送信設定を行う	6-5
SMB フォルダーの準備について	6-8
デスクトップに共有フォルダーを作成する	6-8
坪量／連量換算について	6-9
オプションの仕様	6-10



はじめに

ご挨拶

このたびは弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

このクイックガイドは、高い頻度でご使用いただく機能、およびその操作方法を記載しています。本機の特長をご理解いただくために、必要に応じてこのクイックガイドをお読みください。

重要

- 正しく安全にお使いいただくため、操作の前に必ず本体に同梱されている『安全にお使いいただくために』をお読みください。

マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
[ユーザーズガイド セキュリティ編]	セキュリティ機能について記載しています。 セキュリティ強化機能の使い方、セキュリティ強化機能使用時の機械の操作について知りたい場合は、このユーザーズガイドをお読みください。
[オペレーションクイックガイド]	使用頻度の高い機能について、操作手順を中心に記載しています。本機の特長を理解したい場合は、このガイドをお読みください。
[安全にお使いいただくために]	本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。 製品のご使用前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
[ユーザーズガイド コピー編]	機械の概要やコピー機能について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> 本体、オプションの概要および仕様 電源の入れ方、切り方 使用する用紙の仕様 基本コピーのとり方および設定方法 補給、廃棄部材の処理 応用設定、出力設定、ジョブリスト トラブルの対処方法
[ユーザーズガイド POD 管理者編]	日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズしたり、機械を管理したりする方法について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> トレイ設定 表裏調整 コントローラー設定 調整、設定メニュー画面 ネットワーク設定 PageScope Web Connection 設定 Web Utilities 設定
[ユーザーズガイド プリンター編]	プリンタードライバーおよびユーティリティツールの設定について記載しています。 <ul style="list-style-type: none"> PCL ドライバー PS Plug-in ドライバー PS PPD ドライバー PageScope Web Connection 設定



ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
[ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編]	<p>ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。</p> <ul style="list-style-type: none">• 本体用ハードディスクに保存／出力• メールで送信• コントローラ用ハードディスクに保存• FTP サーバーに送信• SMB サーバーに送信• グループに送信
[商標／ライセンス]	<p>商標およびライセンスについて記載しています。 製品のご使用前に必ずごらんください。</p>

クリックガイドについて

このクリックガイドは、本機をご利用になるお客様を対象にしています。

本機の基本的な操作方法、トラブルの処置方法について説明しています。

なお、トラブルの処置方法には、製品についての基本的な技術知識が必要です。『ユーザーズガイド コピー編』もあわせてごらんいただき、お困りのときは、サービス実施店にお問い合わせください。



ページの見かた

本文中の記号について

本書では、様々な情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

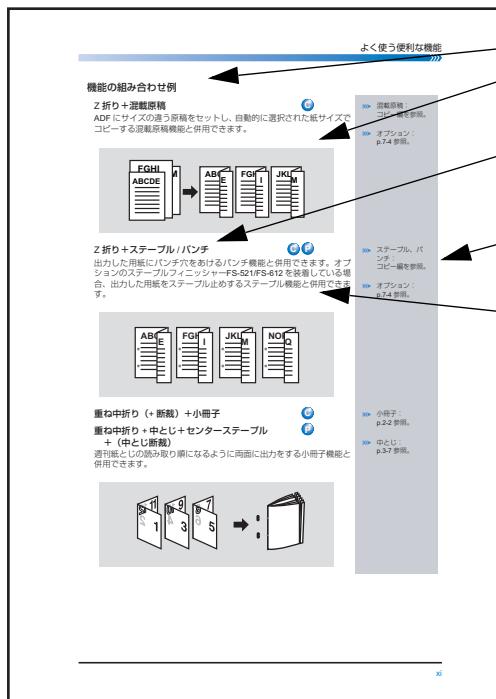
安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害だけの発生が想定される内容を示しています。

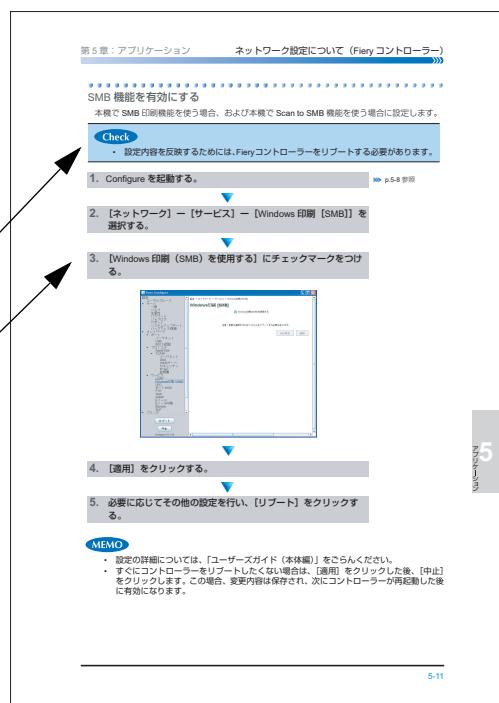


タイトルとイラストによって、操作の目的と機能イメージがわかります。

組み合わせて使うと便利な機能を記載しています。

さらに詳しく書かれているページを記載しています。

知っておくと理解しやすい補足説明を記載しています。



操作の前に確認が必要な内容を記載しています。

操作手順をチャート形式で記載しています。

タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称は、[] で表します。操作パネル上のキー名称は、【 】で表します。

MEMO

- このページは、実際には存在しません。

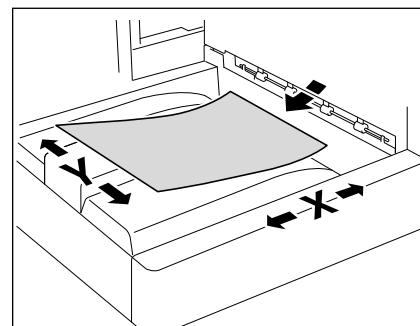


原稿と用紙の表示について

用紙の大きさ

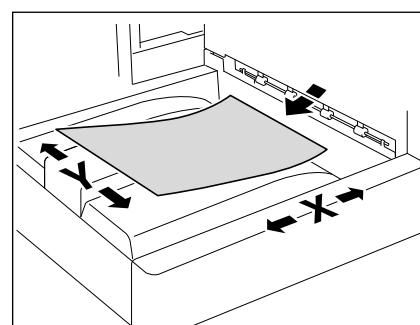
本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。

原稿と用紙の大きさを表す場合、Y辺を幅、X辺を長さと呼びます。

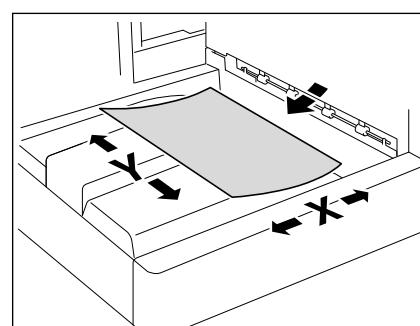


用紙の表示

幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが大きいものを □ と表示します。



幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが小さいものを □ と表示します。



インデックス紙

インデックス紙は、画面では原稿、用紙とも □ と表示されますが、本文中は、T □、T □ と表示します。

(例) A4 □ → A4T □、A4 □ → A4T □



よく使う便利な機能

ここでは、コピー機能、プリンター機能、スキャナー機能のうち、よく使う便利な機能を説明します。

下記の3つのアイコンで、どの機能についての説明なのかを確認できます。複数のアイコンが表記されている説明文は、複数の機能にかかわる内容を説明しています。

- **C** : コピー機能のアイコン
- **P** : プリンター機能のアイコン
- **S** : スキャナー機能のアイコン

MEMO

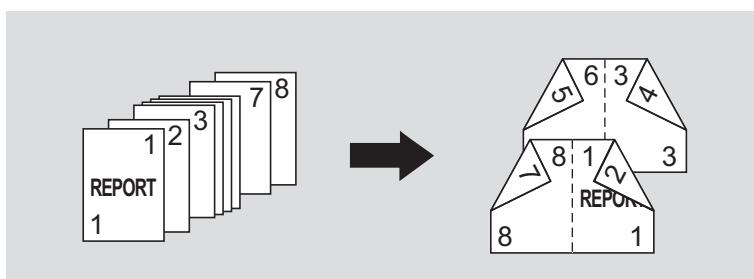
- 参照先が表示されていない機能の詳細は、該当するユーザーズガイドをごらんください。



小冊子機能



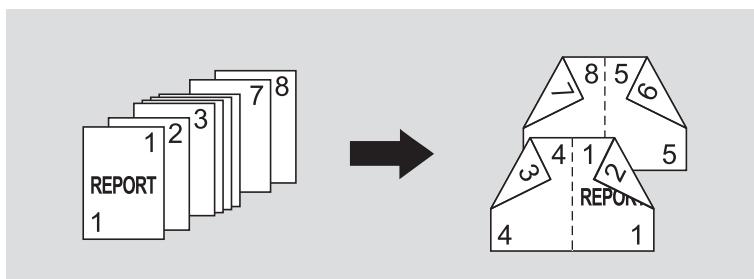
複数枚の原稿を、二つ折りにして週刊紙とじ、または無線とじの読み取り順になるように両面に出力します。出力した用紙を二つに折ると、そのまま小冊子として使用できます。



▶ 小冊子

<コピー機能>
2-2 ページ参照。

<プリンター機能>
3-12 ページ参照。

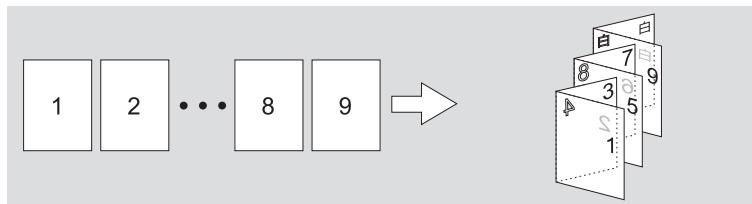
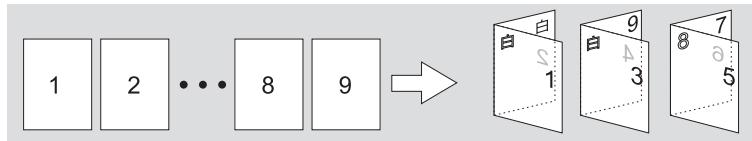


Check

- 小冊子は面付けの機能です。とじ／断裁を行う場合は、オプションを利用する他の機能と組合せて設定します。
- 小冊子では自動倍率機能が自動的に設定されます。
- プリンター機能では、小冊子は「中とじ」(製本タイプ)として表示されます。

**MEMO**

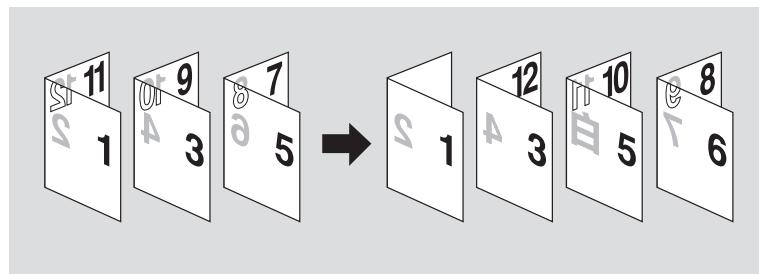
- 出力するドキュメントのページ数が4の倍数以外の場合は、4の倍数に不足しているページ数分の白ページが自動的に末尾に挿入されます。

**小冊子機能の組合せ例****小冊子+章分け**

小冊子は、指定したページを必ず用紙のオモテ面になるように出力する章分けと併用できます。この場合は、必要に応じた空白ページが挿入されます。(例：6ページ目に章分けを設定した場合は、5ページの次に空白ページが挿入され、6ページがオモテ面になります。)

P**章分け**

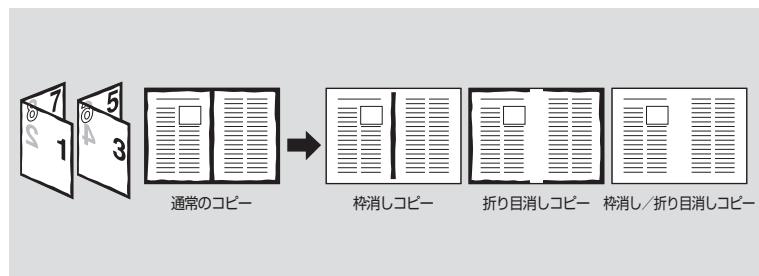
<プリンター機能>
プリンター編の10章、11章を参照。

**小冊子+枠/折り目消し****C**

小冊子は、用紙の周囲や中央に映る黒い影を消してコピーする枠/折り目消しと併用できます。

枠/折り目消し

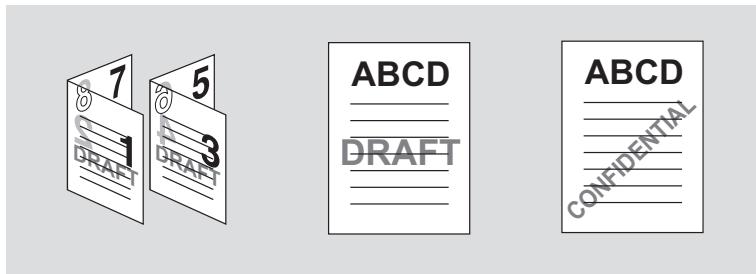
<コピー機能>
コピー編の7章を参照。





小冊子 + スタンプ

コピー機能では、小冊子は印刷文書にナンバリング、ページ番号、日付／時刻を入れるスタンプと併用できます。プリンター機能では、小冊子は印刷文書に指定文字を入れるスタンプと併用できます。



▶ スタンプ

＜コピー機能＞
コピー編の 7 章を参照。

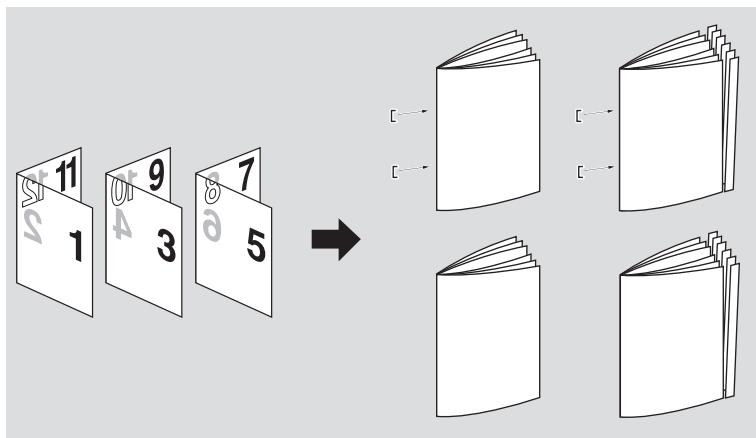
＜プリンター機能＞
プリンター編の 10 章、11 章を参照。

小冊子 + 中とじ（中とじ断裁）

／重ね中折り（重ね中折り断裁）

本体に中とじ機 SD-506 を装着している場合、小冊子は、中とじ、重ね中折り、中とじ断裁、重ね中折り断裁と併用できます。

また、オプションの中とじ機 SD-510 がついたフィニッシャー FS-532 を装着している場合、小冊子は、中とじ、または重ね中折りと併用できます。



▶ 中とじ

（中とじ断裁）
＜コピー機能＞
コピー編の 8 章を参照。

＜プリンター機能＞
プリンター編の 10 章、11 章を参照。

▶ 重ね中折り (重ね中折り断裁)

＜コピー機能＞
2-5 ページ参照。

＜プリンター機能＞
プリンター編の 10 章、11 章を参照。

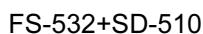
▶ オプション

6-10 ページ参照。



折り機能

折り機 FD-503、中とじ機 SD-506、またはオプションの中とじ機 SD-510 がついたフィニッシャー FS-532 を使用して、用紙に対して以下の折りを設定できます。



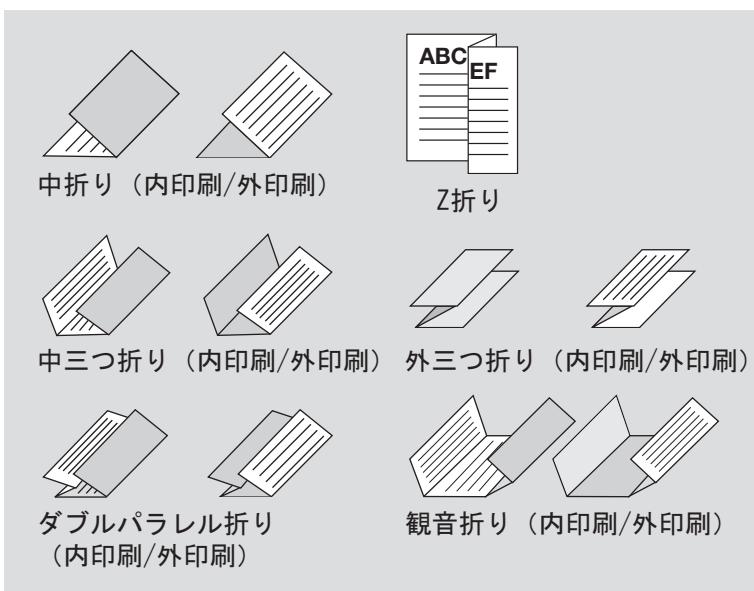
折り

＜コピー機能＞

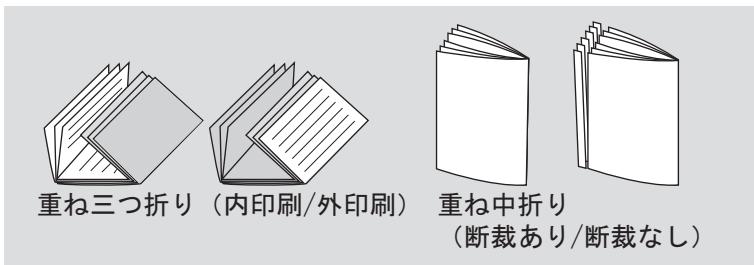
＜プリンター機能＞
プリンター編の 10
章、11 章を参照。

▶ オプション 6-10 ページ参照。

折り機 FD-503 を使用した場合

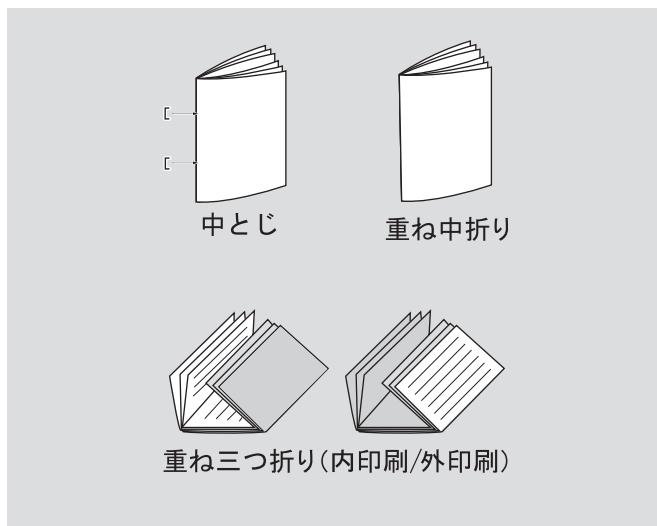


中とじ機 SD-506 を使用した場合





フィニッシャー FS-532+ 中とじ機 SD-510 を使用した場合



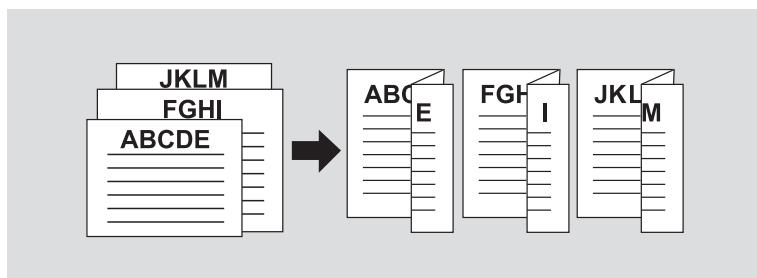
MEMO

- オプションの用紙坪量については、「第 6 章：付録」をごらんください。
- プリンター機能で折り機能を使用する前に、装置情報を更新して、折り機 FD-503、中とじ機 SD-506、またはオプションの中とじ機 SD-510 がついたフィニッシャー FS-532 が装着されていることを確認してください。詳しくは、3-10 ページをごらんください。

折り機能の組合せ例

Z 折り + 混載原稿

折り機 FD-503 を装着している場合、Z 折りと混載原稿を併用できます。混載原稿は、サイズが違う原稿を ADF にセットすると、用紙サイズを自動的に選択してコピーする機能です。



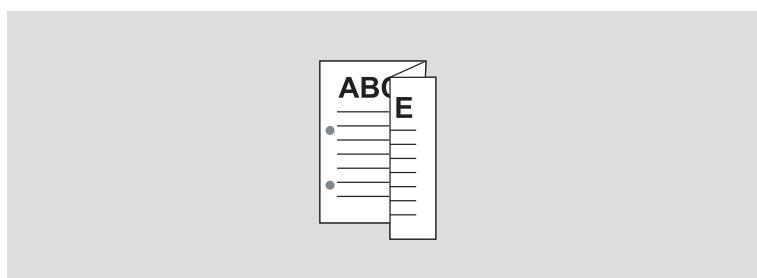
C

» 混載原稿
<コピー機能>
コピー編の 6 章を参
照。

» オプション
6-10 ページ参照。

Z 折り + パンチ

折り機 FD-503 を装着している場合、Z 折りとパンチを併用できます。



C P

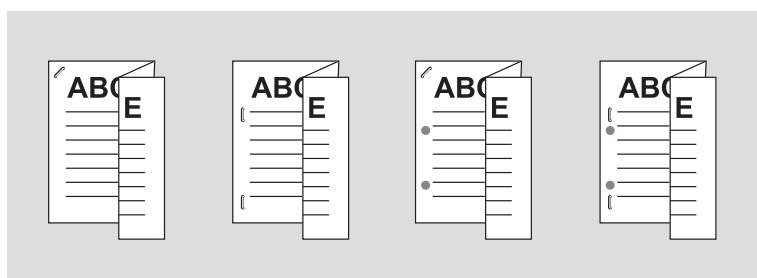
» パンチ
<コピー機能>
コピー編の 8 章を参
照。

<プリンター機能>
プリンター編の 10
章、11 章を参照。

» オプション
6-10 ページ参照。

Z 折り + 平とじステープル

折り機 FD-503 とフィニッシャー FS-532 を装着している場合、Z 折り、平とじステープル、およびパンチとを併用できます。



C P

» ステープル
<コピー機能>
コピー編の 8 章を参
照。

<プリンター機能>
プリンター編の 10
章、11 章を参照。

» オプション
6-10 ページ参照。

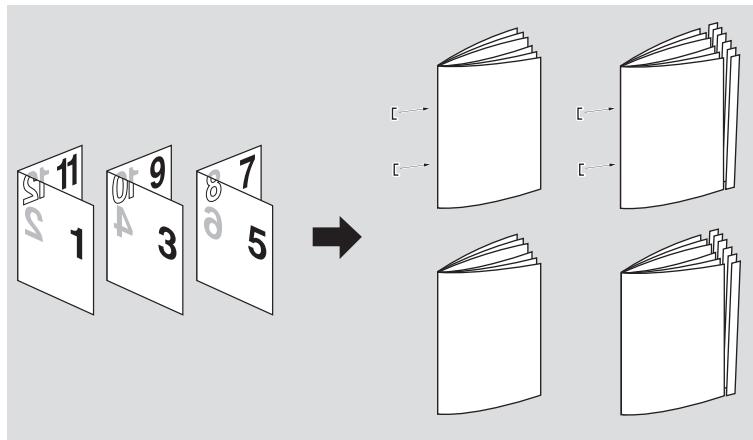


中とじ（中とじ断裁）

／重ね中折り（重ね中折り断裁）+ 小冊子

中とじ機 SD-506 を装着している場合、中とじ、中とじ断裁、重ね中折り、または重ね中折り断裁と小冊子との併用ができます。

また、オプションの中とじ機 SD-510 がついたフィニッシャー FS-532 を装着している場合、中とじ、重ね中折り、または週刊誌とじの読み取り順に両面プリントする小冊子との併用ができます。



▶ 小冊子

＜コピー機能＞

2-2 ページ参照。

＜プリンター機能＞

3-12 ページ参照。

▶ 中とじ（断裁）、

重ね中折り（断裁）

＜コピー機能＞

コピー編の 8 章を参

照。

＜プリンター機能＞

プリンター編の 10

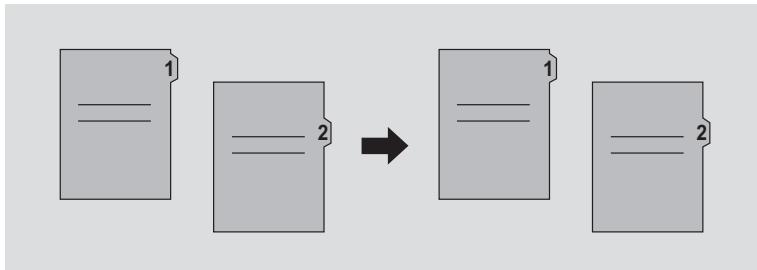
章、11 章を参照。



インデックス紙への印字

C P

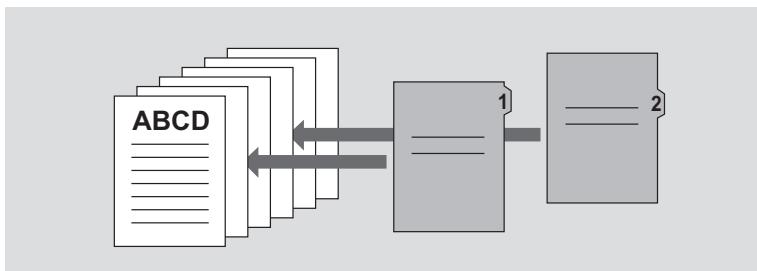
コピー機能では、原稿設定の「原稿サイズ」で「インデックス紙サイズ」を選択して、インデックス紙に出力すると、原稿のインデックス部分も含めたコピーができます。



▶ インデックス紙
<コピー機能>
2-10 ページ参照。

<プリンター機能>
3-16 ページ参照。

プリンター機能では、指定したページ位置にインデックス紙を挿入して、定形サイズや不定形サイズのインデックス紙および用紙にプリントできます。



Check

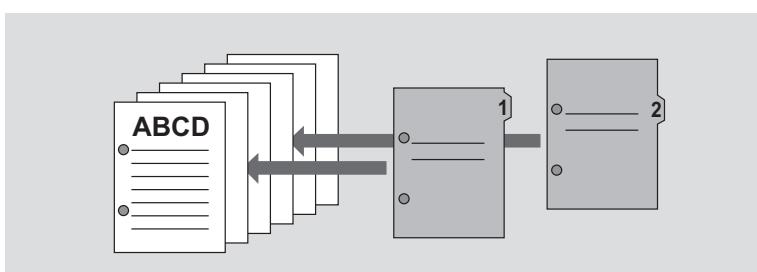
- インデックス紙への印刷は、片面印刷だけになります。

インデックス紙を挿入するときに併用できる機能

P

インデックス紙挿入+パンチ

折り機 FD-503、またはオプションのパンチキット PK-522 がついたフィニッシャー FS-532 を装着している場合、挿入するインデックス紙と用紙にパンチ穴をあけることができます。



▶ オプション
6-10 ページ参照。

▶ パンチ
<プリンター機能>
プリンター編の 10
章、11 章を参照。

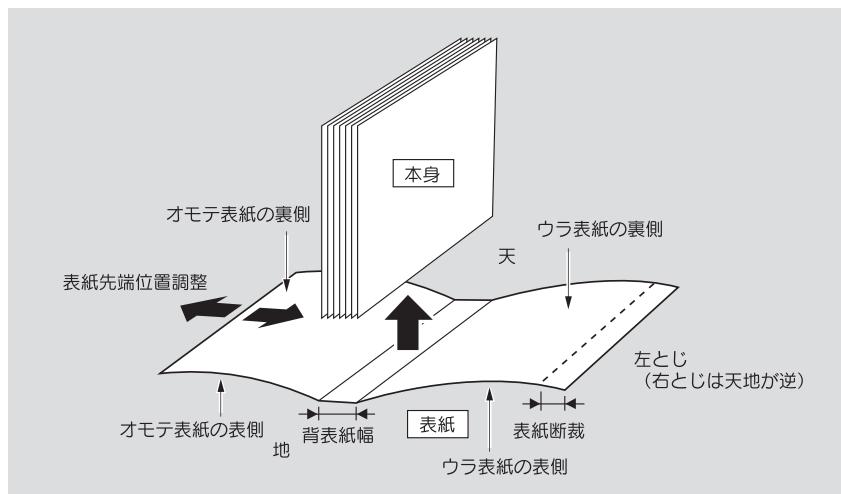
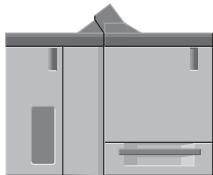
- 挿入するインデックス紙に印刷する場合は、インデックス紙をトレイ 1~8 にセットします。



くるみ製本機能

くるみ製本機 PB-503 を装着している場合、自動的に出力した用紙を束ねて背に糊を付け、表紙にくるんで製本できます。

PB-503



くるみ製本

<コピー機能>
2-12 ページ参照。

<プリンター機能>
3-23 ページ参照。

オプション
6-10 ページ参照。

Check

- プリンター機能でくるみ製本機能を使用する前に、装置情報を更新して、くるみ製本機 PB-503 が装着されていることを確認してください。

くるみ製本機能の組合せ例

くるみ製本+とじしろ設定

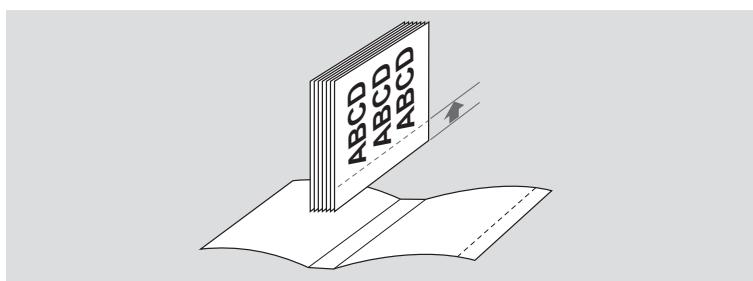
コピー機能では、画像をシフトしてとじしろを作るとじしろと併用できます。プリンター機能では、画像を垂直水平方向にシフトして印字位置を調整する画像シフト機能と併用できます。本身の背表紙側に余白をつくるとき、使用します。



とじしろ

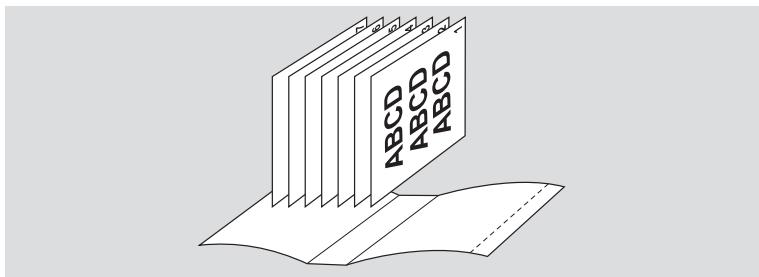
<コピー機能>
コピー編の 7 章を参照。

<プリンター機能>
プリンター編の 10 章、11 章を参照。



**くるみ製本＋スタンプ****C P**

コピー機能では、印刷文書にナンバリング、ページ番号、日付 / 時刻を入れるスタンプと併用できます。プリンター機能では、印刷文書に指定文字を入れるスタンプと併用できます。



➡ スタンプ

<コピー機能>
コピー編の 7 章を参照。<プリンター機能>
プリンター編の 10 章、11 章を参照。**ページごとに設定を変更してプリントする P**

用紙種類、パンチの有無などをページ単位で設定して出力できます。

><プリンター機能>
3-20 ページ参照。**スキャンデータを E-mail に添付して送る S**

スキャンしたデータを E-mail に添付して送信できます。

><スキャナー機能>
4-3 ページ参照**スキャンデータをコンピューターの共有サーバーに送る S**

スキャンしたデータをコンピューターの共有サーバーに送信できます。

><スキャナー機能>
4-7 ページ参照

第1章:ご使用いただく前に

本機をご使用いただく前に、準備しておくことについて説明しています。

電源の ON/OFF	1-2
トレイに用紙をセットする	1-5
用紙設定	1-16

電源の ON/OFF

本機には、主電源スイッチと副電源スイッチの2つの電源スイッチがあります。

Check

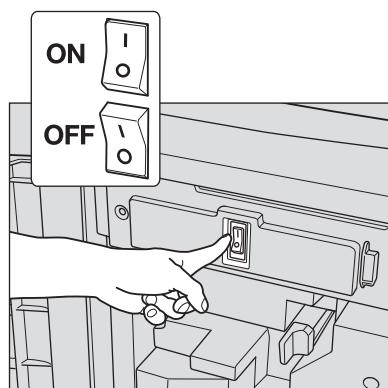
- 通常、主電源スイッチを ON の状態にしたまま使用します。
下記の操作をするときだけ、主電源スイッチを OFF/ON します。それ以外のときは、
主電源スイッチを OFF/ON しないでください。
 - ・ネットワーク設定を変更したとき
 - ・サービスコールになったとき
- 本機には、主電源スイッチを自動的に OFF にする設定があります。これらの設定は、
機械管理者が設定メニューで設定します。詳しくは、機械管理者にお問い合わせください。
 - ・主電源自動 OFF 設定
 - ・ErP 設定
- 自動的に OFF になった機械の主電源を ON にする方法は、通常の操作と同じです。

電源を入れる

1. 本体前扉を開いてから、本体左扉を開く。

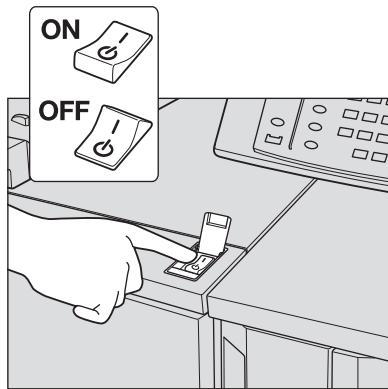


2. 主電源スイッチを ON にする。



▼【次ページへ】

3. 副電源スイッチを ON にする。



- ウェイクアップ画面とウォームアップ画面が表示されます。
- ウォームアップには、約 7 分かかります。

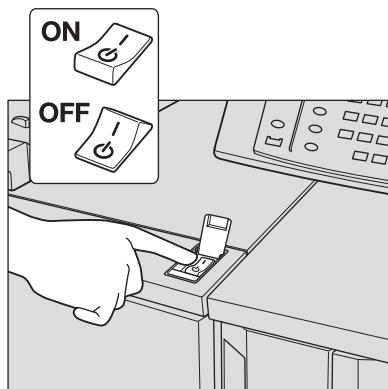
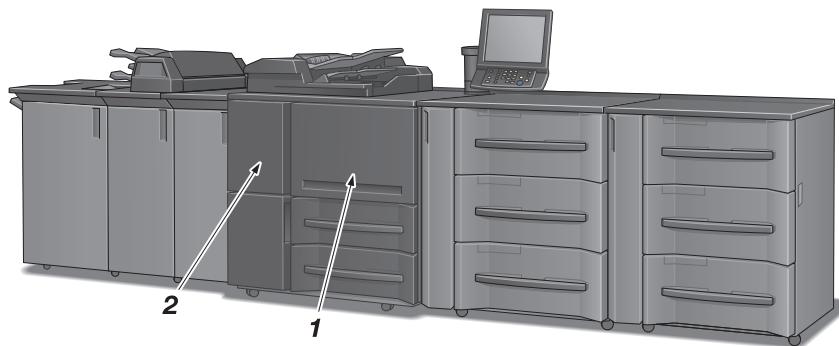
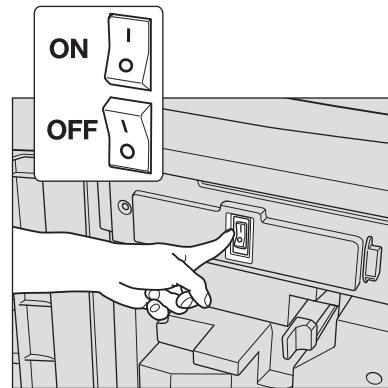
MEMO

- ・ ウォームアップ中に原稿をスキャンしておくと、コピー可能になったときすぐに出力できます。
- ・ コピー可能になると、「プリントできます」（機械状態画面が表示されている場合）、または「コピーできます」（コピー画面が表示されている場合）と表示されます。

電源を切る

Check

- ・ 副電源スイッチを OFF にした後、次のメッセージが表示されている間は、主電源スイッチを OFF にしないでください。機械故障の原因になります。
[冷却中です 冷却後に自動的に電源が切れます]
[電源 OFF 処理中です 主電源を切らないで下さい]
- ・ 副電源スイッチを OFF にして一定時間が経過すると、自動的に主電源スイッチが OFF になることがあります。機械管理者にお問い合わせください。
- ・ オートシャットオフやオートローパワーが機能してから一定時間経過すると、主電源スイッチが OFF になることがあります。機械管理者にお問い合わせください。
- ・ 副電源スイッチを OFF にすると、ウィークリータイマーは機能しなくなります。

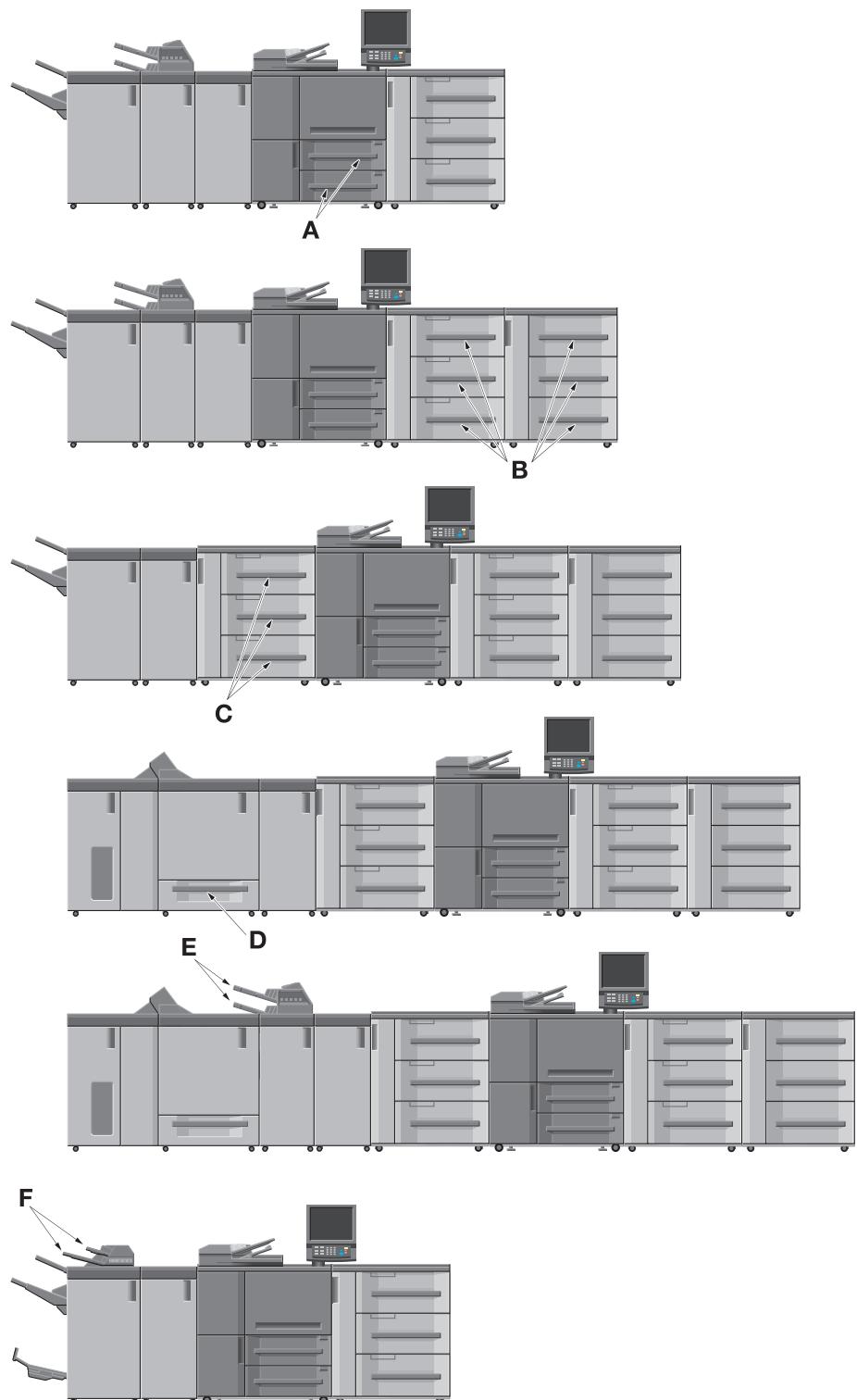
**1. 副電源スイッチを OFF にする。****2. 操作パネルの表示が消えたことを確認し、本体前扉と本体左扉を開く。****3. 主電源スイッチを OFF にする。****MEMO**

- 主電源スイッチを OFF にしてすぐに ON にする場合は、OFF にして必ず 10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

トレイに用紙をセットする

用紙について

用紙をセットする装置には下記のものがあります。





- A : トレイ 1、トレイ 2 : 本体トレイ
- B : トレイ 3～トレイ 8 : ペーパーフィーダーユニット PF-703/PF-706
- C : PI-PFU1～PI-PFU3 : 大容量ポストインサーー PI-PFU
- D : PB : くるみ製本機 PB-503
- E : PI1、PI2 : 折り機 FD-503 のポストインサーー
- F : PI1、PI2 : ポストインサーー PI-502

坪量と用紙種類について

用紙をセットする装置：

装置		本体トレイ	ペーパーフィーダーユニット PF-703 ^{*1} /PF-706		大容量ポストインサーー PI-PFU	
トレイ		トレイ 1、トレイ 2	トレイ 3、5、6、8	トレイ 4、7	PI-PFU 1、PI-PFU 3	PI-PFU 2
坪量		40 g/m ² ～300 g/m ²	40 g/m ² ～300 g/m ²	40 g/m ² ～350 g/m ²	40 g/m ² ～300 g/m ²	40 g/m ² ～350 g/m ²
用紙種類	上質紙	✓	✓	✓	✓	✓
	普通紙	✓	✓	✓	✓	✓
	塗工紙	✓	✓	✓	✓	✓
	追い刷り紙	✗	✓ ^{*2}	✓ ^{*2}	✓	✓
	書籍用紙	40 g/m ² ～216 g/m ²	40 g/m ² ～216 g/m ²	40 g/m ² ～216 g/m ²	40 g/m ² ～216 g/m ²	40 g/m ² ～216 g/m ²
	ラフ紙	40 g/m ² ～216 g/m ²	40 g/m ² ～216 g/m ²	40 g/m ² ～216 g/m ²	40 g/m ² ～216 g/m ²	40 g/m ² ～216 g/m ²
	未印字挿入紙	✓	✓	✓	✓	✓
	エンボス紙	75 g/m ² ～216 g/m ²	75 g/m ² ～216 g/m ²	75 g/m ² ～216 g/m ²	75 g/m ² ～216 g/m ²	75 g/m ² ～216 g/m ²
	インデックス紙	✓	✓	✓	✓	✓
	はがき	✓ ^{*3}	✓	✓	✓	✓

^{*1} : ペーパーフィーダーユニット PF-703 に、用紙として封筒を設定できます、詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

^{*2} : PF-706 の場合は、追い刷りキット PP-701 を装着する必要があります。

^{*3} : はがきアダプターを装着する必要があります。

MEMO

- ・ 用紙を搬送／処理／排出する装置については、「第6章：付録」をごらんください。
- ・ くるみ製本機 PB-503、折り機 FD-503 のポストインサーー、およびポストインサーー PI-502 にセットする用紙の仕様については、『ユーザーズガイドコピー編』をごらんください。

用紙サイズと枚数について

用紙をセットする装置：

装置	本体トレイ	ペーパーフィーダー ユニット PF-703	ペーパーフィーダー ユニット PF-706	大容量ポスト インサーー PI-PFU
トレイ	トレイ1、トレイ2	トレイ3、6	トレイ4、5、7、8	トレイ3～8
枚数	各1,600枚 (64 g/m ²) 各1,500枚 (80 g/m ²)	各1,300枚 (80 g/m ²) 積載高さ 150 mm	各1,850枚 (80 g/m ²) 積載高さ 203.5 mm	各2,000枚 (80 g/m ²) 積載高さ 217 mm
用紙サイズ	最小182 mm × 139 mm～ 最大324 mm × 463 mm	最小150 mm × 133 mm～ 最大324 mm × 483 mm 小サイズガイド使用時： 最小95 mm × 133 mm	最小182 mm × 139 mm～ 最大324 mm × 463 mm 小サイズ ガイド使用時： 最小95 mm × 139 mm	最小150 mm × 133 mm～ 最大324 mm × 483 mm 小サイズガイド使用時： 最小95 mm × 133 mm

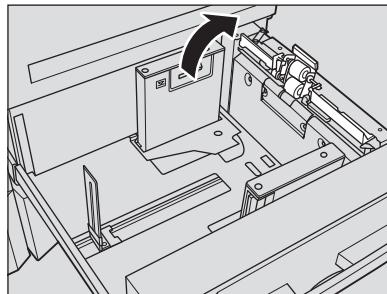
MEMO

- 用紙を搬送／処理／排出する装置については、「第6章：付録」をごらんください。
- くるみ製本機 PB-503、折り機 FD-503 のポストインサーー、およびポストインサーー PI-502 にセットする用紙の仕様については、『ユーザーズガイドコピー編』をごらんください。

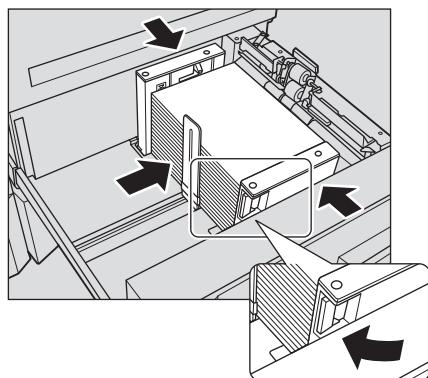
本体トレイに用紙をセットする（トレイ1、トレイ2）

Check

- 本体の電源をOFFにすると、本体トレイを引出せません。主電源スイッチおよび副電源スイッチをONにしてください。
- 機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出せません。
- セットする用紙の印刷面は、下になります。
- トレイの側面ガイドにある積載制限のラインを超えないように、用紙をセットしてください。また、用紙がエアーブラシ口にある紙押さえレバーの下になるようにセットしてください。
- トレイの側面ガイドや後端ガイドと用紙との間に、すき間がないようにしてください。ガイドと用紙との間にすき間があると、機械が正確なサイズを検知できません。また、紙づまりや給送装置の故障の原因になることがあります。
- トレイを、必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや用紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になります。

**1. 用紙を補給するトレイを引出す。****2. 給紙ローラーを開く。****3. 用紙をセットして、側面ガイドと後端ガイドを用紙に沿わせる。**

- 印刷面を下にして、トレイの給紙ローラー側に用紙を揃えるようにセットします。手前の側面ガイドにあるロック解除レバーを押しながら用紙に突当てます。後端ガイドを用紙に突当てます。
- セットした用紙が、トレイの側面ガイドに表示されている積載制限のラインを超えないようにしてください。また、エアー吹出し口にある紙押さえレバーの下になるように、用紙をセットしてください。

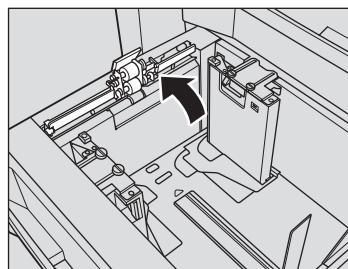
**4. トレイを奥まで確実に押込む。**

- タッチパネル画面の残量表示が、からにかわります。

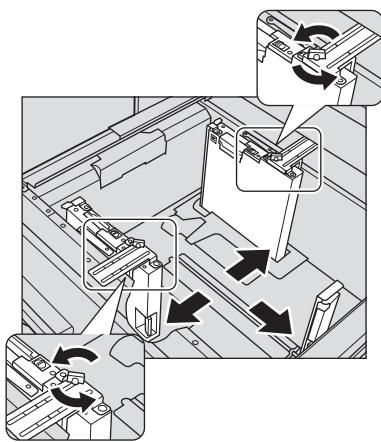
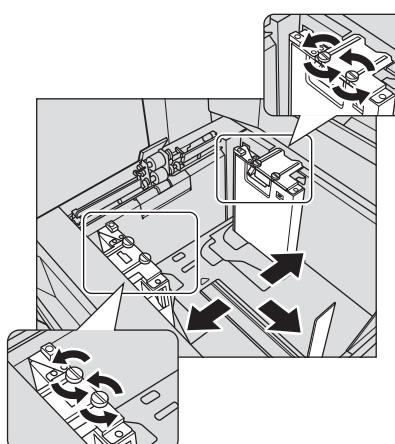
ペーパーフィーダーユニット PF-703/PF-706 に用紙をセットする（トレイ3～トレイ8）

Check

- ・ 本体の電源をOFFになると、トレイを引出せません。主電源スイッチおよび副電源スイッチをONにしてください。
- ・ 機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出せません。
- ・ セットする用紙の印刷面は、上になります。
- ・ トレイの側面ガイドにある積載制限のラインを超えないように、用紙をセットしてください。また、用紙がエアー吹出し口にある紙押さえレバーの下になるようにセットしてください。
- ・ トレイの側面ガイドや後端ガイドと用紙との間に、すき間がないようにしてください。ガイドと用紙との間にすき間があると、機械が正確なサイズを検知できません。また、紙づまりや給送装置の故障の原因になることがあります。側面ガイドの微調整方法については、『ユーザーズガイド コピー編』をごらんください。
- ・ トレイを、必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや用紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。
- ・ 用紙送り交差方向の幅が、PF-703の場合は95 mmから150 mm未満、PF-706の場合は95 mmから182 mm未満の小サイズ用紙をセットするときは、小サイズガイドを開きます。小サイズ用紙をセットするときは、『ユーザーズガイドコピー編』をごらんください。

**1. 用紙を補給するトレイを引出す。****2. 紙ローラーを開く (PF-706だけ)。****PF-706****3. 側面ガイドおよび後端ガイドを広げる。**

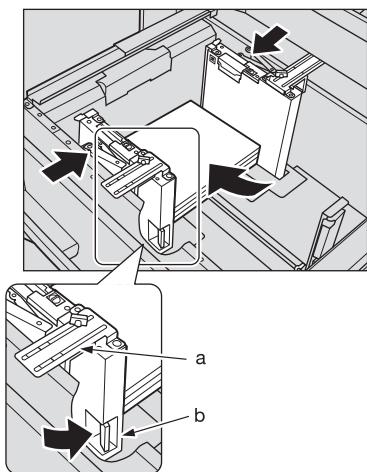
- 側面ガイドのガイド固定ツマミ (PF-703: 2箇所、PF-706: 4箇所) を反時計方向に回してゆるめます。
- ロック解除レバーを押しながら、側面ガイドおよび後端ガイドを大きく広げます。PF-703には、後端ガイドにロック解除レバーがあります。押しながら大きく広げます。PF-706の後端ガイドを広げるとときは、ガイドの下側を持ちます。

PF-703**PF-706** **【次ページへ】**

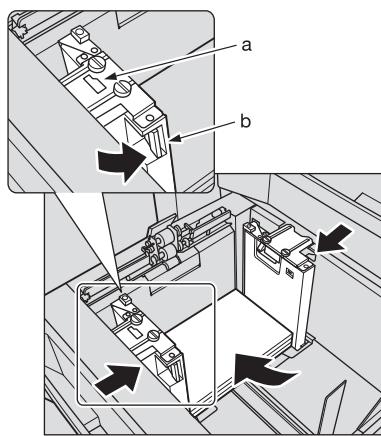
4. 側面ガイドの位置を決める。

- 100枚ほどの用紙を、印刷面を上にしてセットします。ロック解除レバーを押しながら、側面ガイドを用紙に沿わせます。

PF-703



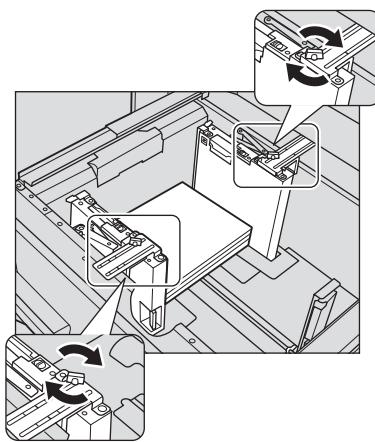
PF-706



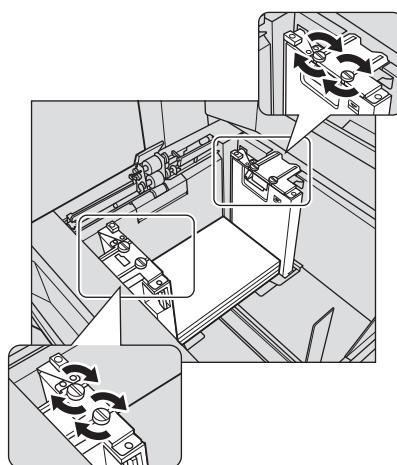
a: サイズ指標 **b:** ロック解除レバー

- 側面ガイドのガイド固定ツマミ (PF-703: 2箇所、PF-706: 4箇所) を、時計方向に回して固定します。

PF-703



PF-706



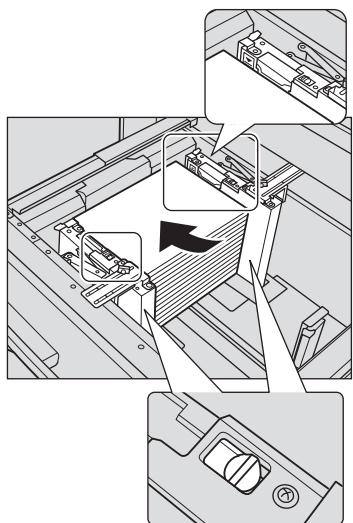
▼【次ページへ】



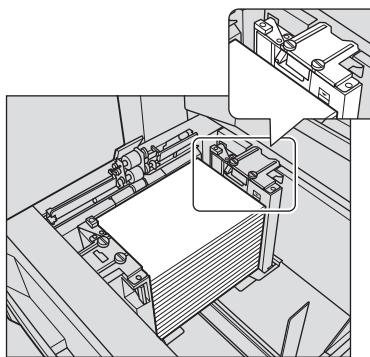
5. 用紙をセットする。

- セットした用紙が、トレイの側面ガイドに表示されている積載制限のラインを超えないようにしてください。また、エアー吹出し口にある紙押さえレバーの下になるように、用紙をセットしてください。
- PF-703 の両サイドの側面ガイドには紙押さえ板固定レバーがあります。通常は、右の位置にしてください。小サイズガイドを開いたとき、このレバーを左にスライドして、紙押さえ固定レバーを固定します。

PF-703



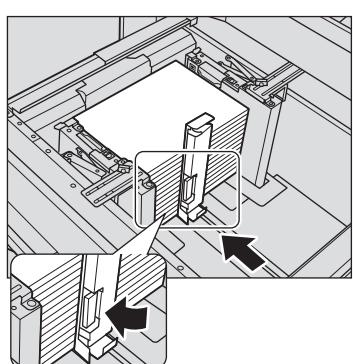
PF-706



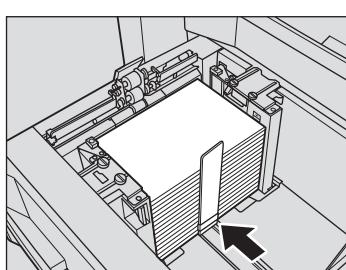
6. 後端ガイドを用紙に沿わせる。

- PF-703 には、後端ガイドにロック解除レバーがあります。押しながら用紙に沿わせます。
- PF-706 の後端ガイドを用紙に沿わせるときは、ガイドの下側を持ちます。

PF-703



PF-706



7. トレイを奥まで確実に押込む。

- タッチパネル画面の残量表示が、からにかわります。

MEMO

- 【トレイ引抜きによる読み込み停止】で OFF を選択している場合、機械が動作中でも、給紙トレイとして使用していないトレイであれば、用紙を補給できます。
- 【トレイ引抜きによる読み込み停止】で ON を選択している場合、ADF で原稿の読み込み中にトレイを引出すと、【トレイをセットして下さい】というメッセージが表示され、原稿の読み込みを中止します。このときは、まずトレイをもとの位置にもどします。【[スタート]で再スタートできます】というメッセージが表示されたら、操作パネルの【スタート】を押して、原稿の読み込みを再開します。

インデックス紙をセットする

Check

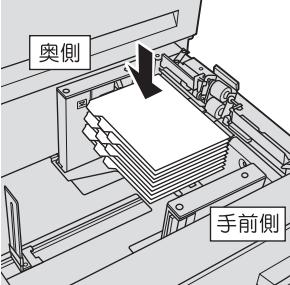
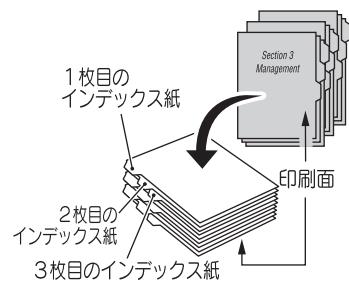
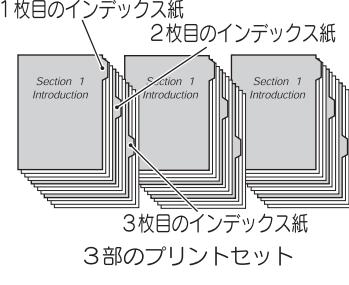
- 本体トレイおよびペーパーフィーダーユニット PF-703/PF-706 は、本体の電源を OFF にすると、トレイを引出せません。主電源スイッチおよび副電源スイッチを ON にしてください。
- 機械の転倒を防止するため、一度に複数のトレイを引出すことはできません。
- 本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）にセットするインデックス紙の印刷面は、下になります。
- ペーパーフィーダーユニット PF-703/PF-706 にセットするインデックス紙の印刷面は、上になります。
- トレイの側面ガイドにある積載制限のラインを超えないように、インデックス紙をセットしてください。
- トレイの側面ガイドや後端ガイドとインデックス紙との間に、すき間がないようにしてください。1 mm 以上のすき間があったり、きつくなっているとインデックス紙がゆがんだりすると、うまく給送できないことがあります。

本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）にインデックス紙をセットする

例：1部のプリントセットに3枚のインデックス紙を挿入

トレイセット方向	インデックス紙の重ね方	プリントセット

例：3部のプリントセットに各3枚（合計9枚）のインデックス紙を挿入

トレイセット方向	インデックス紙の重ね方	プリントセット
		

1. トレイ設定の【用紙サイズ】で、インデックス紙のサイズを設定したトレイを引出す。

2. 給紙ローラーを開く。

3. インデックス紙をセットする。

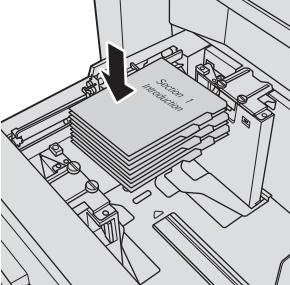
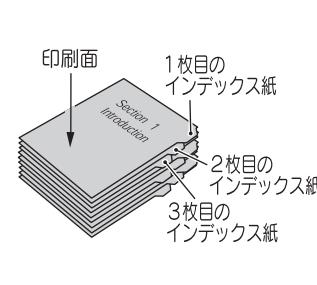
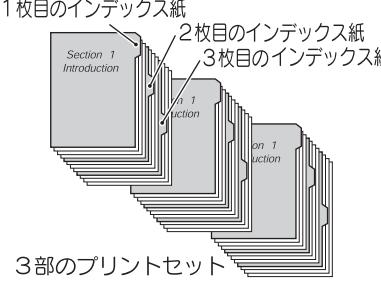
4. 側面ガイドおよび後端ガイドをインデックス紙に沿わせる。

- ロック解除レバーを押しながら、側面ガイドをインデックス紙に突当てます。
- 後端ガイドをインデックス紙に突当てます。

5. トレイを奥まで確実に押込む。

ペーパーフィーダーユニット PF-703/PF-706（トレイ3～トレイ8）にインデックス紙をセットする

例：3部のプリントセットに各3枚（合計9枚）のインデックス紙を挿入

トレイセット方向	インデックス紙の重ね方	プリントセット
		

1. トレイ設定の【用紙サイズ】で、インデックス紙のサイズを設定したトレイを引出す。

2. 給紙ローラーを開き、側面ガイドおよび後端ガイドを広げる。

- PF-703 には、給紙ローラーはありません。
- 側面ガイドは、ガイド固定ツマミ (PF-703: 2 箇所、PF-706: 4 箇所) を反時計方向に回してゆるめてから、広げます。

3. インデックス紙をセットする。

4. 側面ガイドおよび後端ガイドをインデックス紙に沿わせる。

- 側面ガイドは、インデックス紙に突当て、ガイド固定ツマミ (PF-703: 2 箇所、PF-706: 4 箇所) を時計方向に回して、固定します。
- 後端ガイドをインデックス紙に突当てます。

5. トレイを奥まで確実に押込む。

MEMO

- ・ [トレイ引抜きによる読み込み停止] で OFF を選択している場合、機械が動作中でも、給紙トレイとして使用していないトレイであれば、用紙を補給できます。
- ・ [トレイ引抜きによる読み込み停止] で ON を選択している場合、ADF で原稿の読み込み中にトレイを引出すと、[トレイをセットして下さい] というメッセージが表示され、原稿の読み込みを中止します。このときは、まずトレイをもとの位置にもどします。[[スタート]で再スタートします] というメッセージが表示されたら、操作パネルの【スタート】を押して、原稿の読み込みを再開します。
- ・ インデックス紙を給送するためには、使用するトレイのトレイ設定を変更する必要があります。トレイ設定については、1-5 ページをごらんください。



用紙設定

用紙設定の操作について説明します。

用紙設定は、機械状態画面の【トレイ設定】、またはコピー画面の【用紙予約設定】を押して設定します。用紙設定を行うとき、あらかじめ登録した用紙条件を呼出します。呼出す用紙条件の登録は、機械状態画面の【用紙条件登録／削除】を押して行います。

機械状態画面の【トレイ設定】で設定した用紙設定は、デフォルトとして使用する用紙設定です。コピー画面の【用紙予約設定】で設定する用紙設定は、トレイ設定とは異なる用紙に出力するために一時的に使用する設定です。【用紙予約設定】で設定した用紙設定は、リセット機能が働くと、【トレイ設定】の用紙設定にもどります。また、【用紙予約設定】で設定した用紙設定は、登録して残すことができません。

用紙設定の概要

用紙設定には、4つの設定項目があります。

- 用紙トレイ
- 用紙サイズ
- 用紙条件
- エアーブロー（折り機 FD-503 のポストインサーーおよびポストインサーー PI-502 には、エアーブローの機能はありません。）

用紙設定には、3つの操作があります。

操作種類	設定項目	説明
用紙条件登録／削除	用紙条件	4つの用紙設定のうち、用紙条件だけをあらかじめ登録します。トレイ設定や用紙予約設定をするとき、呼出して設定できます。また、登録した用紙条件を削除します。
トレイ設定	用紙トレイ 用紙サイズ 用紙条件 エアーブロー	各トレイに用紙サイズ、用紙条件、およびエアーブローの設定をします。設定した用紙条件の登録ができます。
用紙予約設定	用紙トレイ 用紙サイズ 用紙条件	トレイ設定とは異なる用紙に一時的に出力するとき、使用するトレイに用紙サイズおよび用紙条件を設定します。エアーブローの設定はできません。また、設定した用紙条件は登録できません。

用紙条件を登録する：用紙条件登録／削除

あらかじめ任意の用紙条件を登録し、トレイ設定や用紙予約設定をするとき呼び出し、設定を簡単、かつ確実に行います。

Check

- 登録できるのは用紙条件だけです。用紙トレイ、用紙サイズ、エアーブローは登録できません。

1. 機械状態画面の【用紙条件登録／削除】を押す。



2. 用紙条件の登録先を選択する。

- [▲] または [▼] を押して登録先を表示してから、登録先の行を選択します。



3. 【追加／編集】を押す。

▼【次ページへ】



4. [用紙種類]、[用紙名称]、[坪量]、[色紙]、[パンチ]、[表裏調整]、[プロセス調整]、[片寄り検知設定]、[カール調整]、[重送検知設定]、[曲がり検知設定]、[RU カール調整] を押して、任意に設定する。

- 用紙設定の登録をするとき、用紙名称登録画面が表示されます。用紙名称を入力しないときは、用紙種類を用紙名称として登録します。



5. [OK] を押す。

MEMO

- [表裏調整] のチャート調整は、登録できません。チャート調整は、トレイ設定や用紙予約設定で選択したトレイに設定します。
- [プロセス調整] では、[転写電流オフセット調整]、[定着圧接力設定]、[プロセス速度設定]、および [エンボス紙濃度レベル設定] を行います。詳しくは、『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。

トレイにデフォルトの用紙設定を設定する：トレイ設定

デフォルトの用紙設定として各トレイに用紙サイズ、用紙条件、エアープローを設定します。

Check

- トレイ設定では、あらかじめ登録した用紙条件を呼出して設定したり、呼出した用紙条件を任意に変更したりします。
- トレイ設定で設定した用紙条件は、登録できます。
- 折り機 FD-503 のポストインサーーおよびポストインサーー PI-502 には、エアープローの機能はなく、設定できません。

1. 機械状態画面の【トレイ設定】を押す。



2. トレイ設定するトレイボタンを選択する。



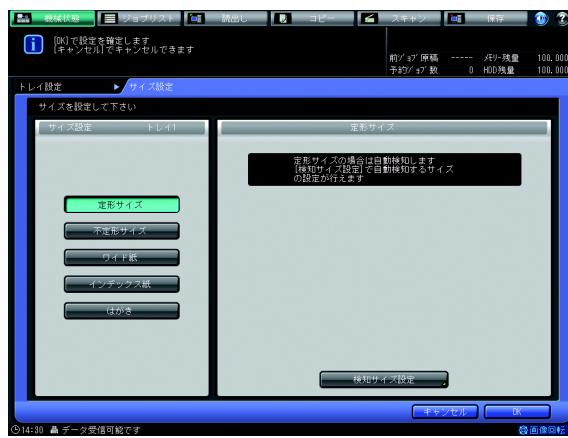
▼【次ページへ】



3. [用紙サイズ] 右の [設定変更] を押す。

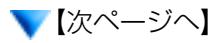


4. サイズ設定の中から該当するものを選択し、[OK] を押す。



5. あらかじめ登録した用紙条件を設定するため、[設定呼出し] を押す。

- 選択したトレイのトレイ設定を任意に変更するときは、手順7に進みます。



6. 登録した用紙条件を選択して、[OK] を押す。

- [▲] または [▼] を押して、登録リストを表示し、任意の行を選択します。



7. 選択したトレイのトレイ設定を変更するため、[設定変更] を押す。



8. [用紙種類]、[坪量]、[色紙]、[パンチ]、[表裏調整]、[プロセス調整]、[片寄り検知設定]、[カール調整]、[重送検知設定]、[曲がり検知設定]、[RU カール調整] を押して任意に変更し、[OK] を押す。



▼【次ページへ】



9. 手順7、8で設定したトレイ設定を登録するときは、[設定登録]を押す。

- 登録しないときは、手順12に進みます。



10.用紙条件の登録先を選択する。

- [▲] または [▼] を押して、登録先を表示し、登録先の行を選択します。



11.用紙名称を入力して、[OK] を2回押す。

- 用紙設定の登録をするとき、用紙名称登録画面が表示されます。用紙名称を入力しないときは、用紙種類を用紙名称として登録します。



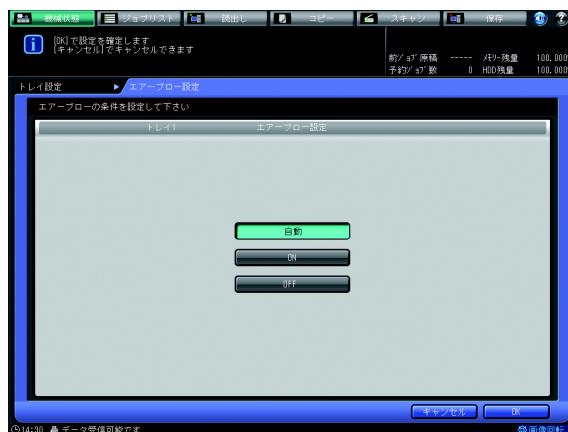
【次ページへ】

12. 必要に応じて、[エアーブロー] 右の [設定変更] を押す。

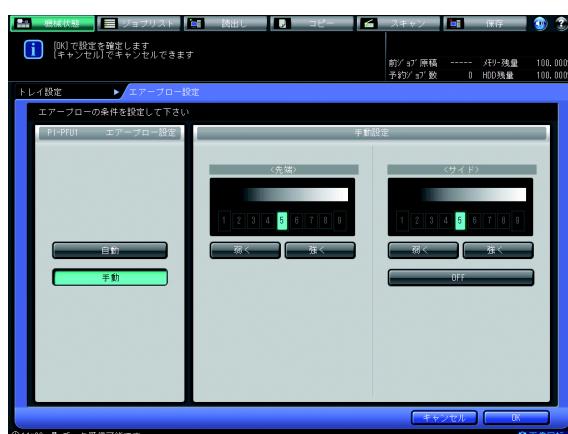


13. エアーブローの設定をして、[OK] を押す。

- 本体トレイを選択しているとき：

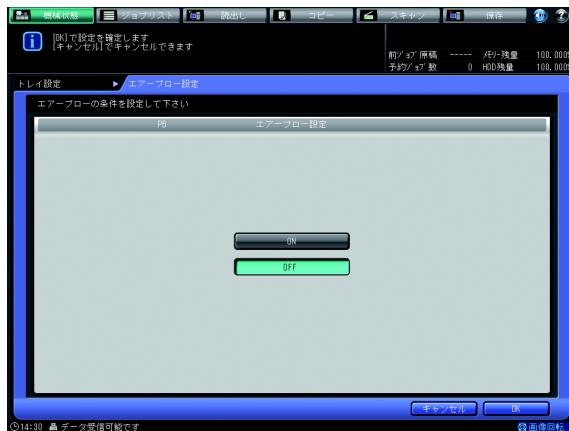


- ペーパーフィーダーユニットトレイ、または PI-PFU トレイを選択しているとき：





- くるみ製本機の表紙トレイを選択しているとき：



14. [閉じる] を押す。

MEMO

- トレイ設定では、登録した用紙条件を削除できません。機械状態画面の「用紙条件登録／削除」を押して削除します。
- 表裏調整、および表裏調整のチャート調整の詳細は、1-29 ページをごらんください。
- 【プロセス調整】では、【転写電流オフセット調整】、【定着圧接力設定】、【プロセス速度設定】、および【エンボス紙濃度レベル設定】を行います。詳しくは、『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。

トレイ設定と異なる用紙設定を設定する：用紙予約設定

コピー時に、トレイにセットされていない用紙を一時的に設定し、出力予約するときに使用します。トレイにセットされていない用紙サイズの原稿をコピーしたい場合は、読み込みを開始できませんが、この機能を使用することで読み込みを行い出力予約できます。

Check

- 用紙予約設定では、あらかじめ登録した用紙条件を呼出して設定したり、任意に変更したりします。
 - 用紙予約設定で設定した用紙設定は、登録できません。
 - 折り機 FD-503 のポストインサー^ターおよびポストインサー^ター PI-502 には、エアーブローの機能はなく、設定できません。
 - リセット機能が働くと、用紙設定は [トレイ設定] で設定した用紙設定にもどります。

1. コピー画面の [用紙予約設定] を押す。



2. 一時的に用紙設定を変更して使用するトレイボタンを選択する。



◀ [次ページへ]



3. [用紙サイズ] 右の [設定変更] を押す。

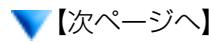


4. 用紙サイズを選択し、[OK] を押す。



5. あらかじめ登録した用紙条件を設定するため、[設定呼出し] を押す

- 選択したトレイのトレイ設定を任意に変更するときは、手順 7 に進みます。



6. 登録した用紙条件を選択して、[OK] を押す。

- [▲] または [▼] を押して、登録リストを表示し、任意の行を選択します。



7. 選択したトレイのトレイ設定を変更するため、[設定変更] を押す。



8. [用紙種類]、[坪量]、[色紙]、[パンチ]、[表裏調整]、[プロセス調整]、[片寄り検知設定]、[カール調整]、[重送検知設定]、[曲がり検知設定]、[RU カール調整] を押して任意に変更し、[OK] を押す。



▼ 次ページへ

**9. [閉じる] を押す。****MEMO**

- ・表裏調整、および表裏調整のチャート調整の詳細は、1-29 ページをごらんください。
- ・[プロセス調整] では、[転写電流オフセット調整]、[定着圧接力設定]、[プロセス速度設定]、および [エンボス紙濃度レベル設定] を行います。詳しくは、1-36 ページ、および『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。

表裏調整を行う

表裏調整は、[オモテ] [ウラ] の [倍率] (タテ倍／ヨコ倍)、および [イメージシフト] (上下／左右) の数値を入力して、出力画像のタテ、ヨコの比率と画像位置を調整します。

[倍率] (タテ倍／ヨコ倍) は、[オモテ] [ウラ] それぞれ個別に、タテ方向の倍率とヨコ方向の倍率を 0.05 % 単位で変更します。

[オモテ] の [イメージシフト] (上下／左右) は、用紙に対する画像位置を 0.1 mm 単位で調整し、[ウラ] は、[オモテ] に対する画像位置を調整します。

下記のボタンを押して表裏調整画面を表示し、表裏調整を行います。

- ① 機械状態画面の [表裏調整]
- ② 機械状態画面の [トレイ設定] で表示する設定変更画面の [表裏調整]
- ③ コピー画面の [用紙予約設定] で表示する設定変更画面の [表裏調整]
- ④ 機械状態画面の [用紙条件登録／削除] で表示する追加／編集画面の [表裏調整]

Check

- ・ ①、②の [表裏調整] は、各用紙トレイに対する調整です。どちらの画面から調整しても調整は同じになります。
- ・ ③の [表裏調整] は、一時的な調整で、リセット機能が働くと設定した調整は機能しなくなります。
- ・ ④の [表裏調整] は、設定する用紙条件に対する調整です。登録する用紙条件ごとに設定できます。
- ・ ①、②の [表裏調整] では、チャート調整ができます。チャート調整の詳細は、1-32 ページをごらんください。

1. [表裏調整] を表示する。

- 機械状態画面を表示すると、下部に表示されます。
- 機械状態画面の [トレイ設定] を押し、[用紙トレイ] 下のトレイボタンを選択して、画面右下の [設定変更] を押すと、表示されます。
- コピー画面の [用紙予約設定] を押し、[用紙トレイ] 下のトレイボタンを選択して、画面右下の [設定変更] を押すと、表示されます。
- 機械状態画面の [用紙条件登録／削除] を押し、任意の登録行を選択して、[追加／編集] を押すと、表示されます。

▼【次ページへ】



2. [表裏調整] を押す。



- 機械状態画面の「表裏調整」を押したときは、[用紙トレイ] 下のトレイボタンを選択します。



▼【次ページへ】

3. [オモテ] を選択し、[タテ倍]、[ヨコ倍]、[上下]、[左右] を選択して、任意に調整値を入力する。



4. [ウラ] を選択し、[タテ倍]、[ヨコ倍]、[上下]、[左右] を選択して、任意に調整値を入力する。



5. [OK] を押す。

- トレイ設定画面、または用紙予約設定画面が表示された場合は、[閉じる] を押します。



チャート調整を行う

チャート調整は、チャートを出力し、チャートの各ポイントの距離やズレ量を測定して入力して、表裏調整に反映させます。

下記の操作をして表裏調整画面を表示し、チャート調整を行います。

- ・ 機械状態画面の【表裏調整】を押す
- ・ 機械状態画面の【トレイ設定】で表示する設定変更画面の【表裏調整】を押す

Check

- ・ チャート調整は、各用紙トレイに対して行います。どちらの画面から調整しても調整結果は同じです。用紙予約設定や【用紙条件登録／削除】の表裏調整画面では、チャート調整はできません。
- ・ 表裏調整の詳細は、1-29ページをごらんください。

1. 【表裏調整】を表示する。

- 機械状態画面を表示すると、下部に表示されます。
- 機械状態画面の【トレイ設定】を押し、【用紙トレイ】下のトレイボタンを選択して、画面右下の【設定変更】を押すと、表示されます。

2. 【表裏調整】を押す。



- 機械状態画面の【表裏調整】を押したときは、【用紙トレイ】下のトレイボタンを選択します。



▼【次ページへ】

3. [オモテ] を選択し、[チャート調整] を押す。



4. [印刷モードへ] を押す。



5. 操作パネルの【スタート】を押し、[閉じる] を押す。



▼【次ページへ】



6. 出力されたチャートの各ポイントの距離を測定し、入力する。



7. [調整開始] を押す。

- 表裏調整画面にもどります。



8. [ウラ] を選択し、[チャート調整] を押す。



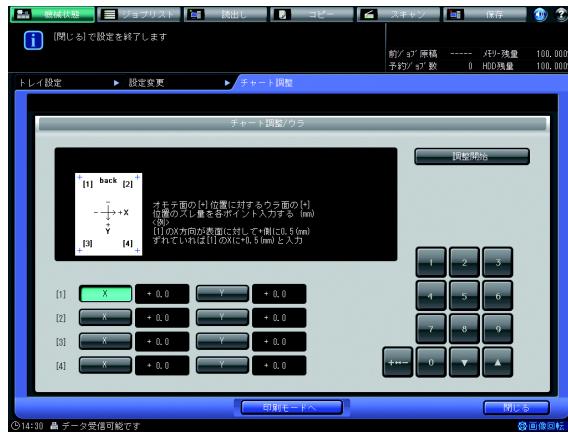
9. [印刷モードへ] を押す。

▼【次ページへ】

10.操作パネルの【スタート】を押し、【閉じる】を押す。



11.出力されたチャートのオモテ面の4箇所の【+】とウラ面の【+】の位置のズレ量をX座標、Y座標で入力する。



12.【調整開始】を押す。

- 表裏調整画面にもどります。



13.表裏調整の手順を続ける。



プロセス調整を行う

各トレイや、用紙条件に転写電流オフセット調整やプロセス速度設定を行います。

下記の操作をしてプロセス調整画面を表示します。

- ① 機械状態画面の【トレイ設定】で表示する設定変更画面の【プロセス調整】を押す
- ② コピー画面の【用紙予約設定】で表示する設定変更画面の【プロセス調整】を押す
- ③ 機械状態画面の【用紙条件登録／削除】で表示する追加／編集画面の【プロセス調整】を押す

Check

- ①の【プロセス調整】は、各用紙トレイに対する調整です。
- ②の【プロセス調整】は、一時的な調整で、リセット機能が働くと設定した調整は機能しなくなります。
- ③の【プロセス調整】は、設定する用紙条件に対する調整です。登録する用紙条件ごとに設定できます。

1. 【プロセス調整】を表示する。

- 機械状態画面の【トレイ設定】を押し、【用紙トレイ】下のトレイボタンを選択して、画面右下の【設定変更】を押すと、表示されます。
- コピー画面の【用紙予約設定】を押し、【用紙トレイ】下のトレイボタンを選択して、画面右下の【設定変更】を押すと、表示されます。
- 機械状態画面の【用紙条件登録／削除】を押し、任意の登録行を選択して、【追加／編集】を押すと、表示されます。

2. 【プロセス調整】を押す。



▼【次ページへ】

3. [転写電流オフセット調整] を押す。



4. 左の調整対象ボタンを選択する。



5. 画面のテンキーで調整値を入力し、[セット] を押す。

6. 手順 4 と手順 5 を繰返して、調整対象の現在値を変更する。

7. [OK] を押す。

▼【次ページへ】



8. [定着圧接力設定] を押す。



9. 画面に表示された任意のボタンを選択する。

- 通常は、[デフォルト圧接力] を選択します。
- 定着不足のときは、圧接力が大きくなる方向に、カール量が大きいときは、圧接力が小さくなる方向に調整します。



10. [OK] を押す。



11. [プロセス速度設定] を押す。

- エンボス紙、未印字挿入紙以外の用紙種類を選択し、坪量を 40 - 49 g/m²、50 - 61 g/m²、または 62 - 74 g/m² を選択したとき、機能します。

▼【次ページへ】

12.任意のボタンを選択する。

- bizhub PRESS 1250 では下記の画面が表示されます。



- bizhub PRESS 1052 では下記の画面が表示されます。



13.[OK] を押す。

14.[エンボス紙濃度レベル設定] を押す。

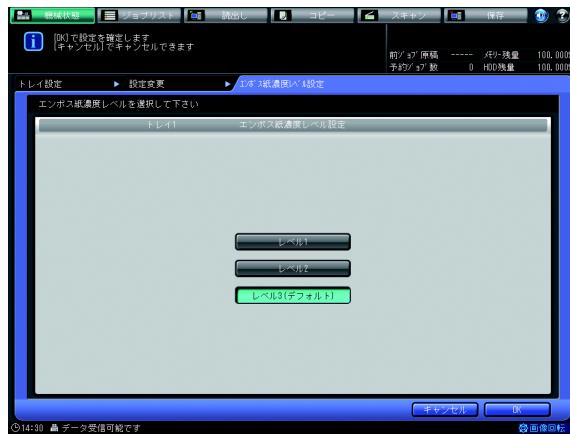
- 用紙設定でエンボス紙を選択したとき、[エンボス紙濃度レベル設定] を選択できます。



▼【次ページへ】

**15.画面に表示された任意のボタンを選択する。**

- 通常は、[レベル3 (デフォルト)] を選択します。
- エンボス紙凹部に転写抜けがあるとき、レベルを上げ、濃度が濃いとき、レベルを下げます。

**16.[OK] を押す。**

- トレイ設定画面、または用紙予約設定画面が表示された場合は、[閉じる] を押します。

片寄り検知設定とカール調整を行う

片寄り検知設定は、用紙の片寄りを検知して自動補正をするか、しないかを選択します。

カール調整は、出力紙のカールを補正するか、しないかを選択します。

カール調整は、坪量 245 g/m² 以上の用紙には設定できません。

下記の操作をしてそれぞれの画面を表示します。

- ① 機械状態画面の [トレイ設定] で表示する設定変更画面の [片寄り検知設定] や [カール調整] を押す
- ② コピー画面の [用紙予約設定] で表示する設定変更画面の [片寄り検知設定] や [カール調整] を押す
- ③ 機械状態画面の [用紙条件登録／削除] で表示する追加／編集画面の [片寄り検知設定] や [カール調整] を押す

Check

- ①の [片寄り検知設定] と [カール調整] は、各用紙トレイに対する調整です。
- ②の [片寄り検知設定] と [カール調整] は、一時的な調整で、リセット機能が働くと設定した調整は機能しなくなります。
- ③の [片寄り検知設定] と [カール調整] は、設定する用紙条件に対する調整です。登録する用紙条件ごとに設定できます。
- 設定メニューの [片寄り検知 JAM 設定] で [検知する] を選択し、トレイ設定の [片寄り検知設定] を [ON] にしたトレイから給紙すると、5 mm 以上の片寄りが発生すると停止し、5 mm 未満だと機械が片寄りを自動補正します。

1. [片寄り検知設定] と [カール調整] を表示する。

- 機械状態画面の [トレイ設定] を押し、[用紙トレイ] 下のトレイボタンを選択して、画面右下の [設定変更] を押すと、表示されます。
- コピー画面の [用紙予約設定] を押し、[用紙トレイ] 下のトレイボタンを選択して、画面右下の [設定変更] を押すと、表示されます。
- 機械状態画面の [用紙条件登録／削除] を押し、任意の登録行を選択して、[追加／編集] を押すと、表示されます。

2. [片寄り検知設定] を押す。



▼ [次ページへ]

**3. [ON] または [OFF] を選択して、[OK] を押す。****4. [カール調整] を押す。****5. 任意のボタンを選択する。****6. [OK] を押す。**

- トレイ設定画面、または用紙予約設定画面が表示された場合は、[閉じる] を押します。

エアーブローを設定する

トレイ設定でエアーブローの設定をする手順を説明します。

Check

- 機械状態画面の【用紙条件登録／削除】やコピー画面の【用紙予約設定】ではエアーブローの設定はできません。
- エアーブローの設定は、登録できません。
- 折り機 FD-503 のポストインサー^タおよびポストインサー^タ PI-502 には、エアーブローの機能はなく、設定できません。

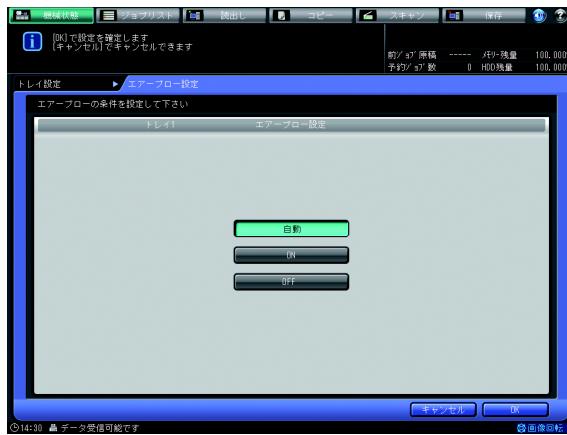
1. 機械状態画面の【トレイ設定】を押す。

- トレイ設定画面が表示されます。



2. 【トレイ1】または【トレイ2】を選択して、「エアーブロー」右の【設定変更】を押します。

- 【自動】、【ON】、または【OFF】を選択して、【OK】を押します。

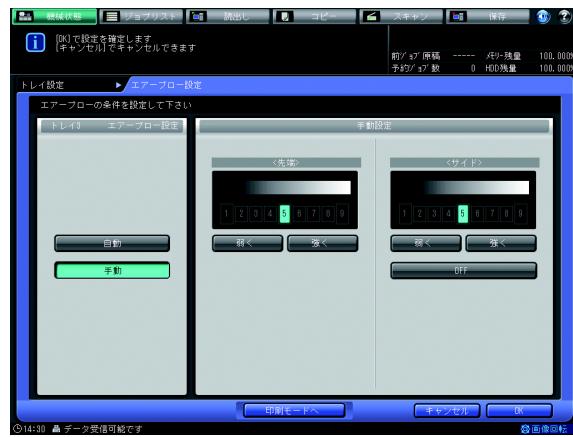


▼【次ページへ】



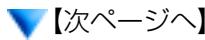
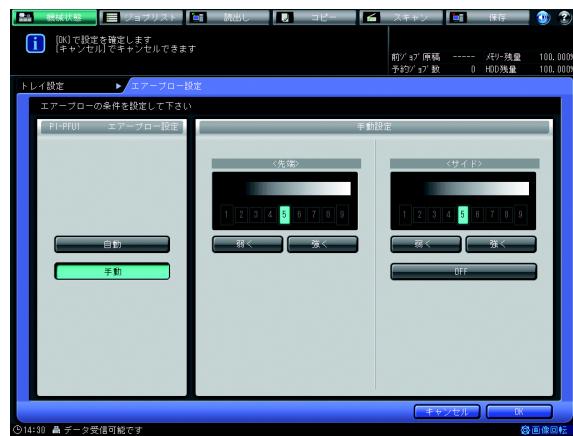
3. [トレイ3]～[トレイ8]を選択して、「エアーブロー」右の「設定変更」を押します。

- [自動] または [手動] を選択します。
- [手動] を選択したとき、手動設定で風量を調整します。
- [OK] を押します。



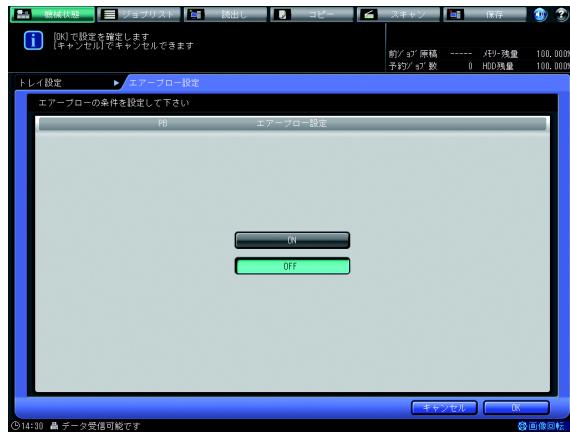
4. [PI-PFU1]～[PI-PFU3]を選択して、「エアーブロー」右の「設定変更」を押します。

- [自動] または [手動] を選択します。
- [手動] を選択したとき、手動設定で風量を調整します。
- [OK] を押します。



5. [PB] を選択して、「エアーブロー」右の【設定変更】を押します。

- [ON] または [OFF] を選択して、[OK] を押します。



MEMO

- ペーパーフィーダーユニット PF-703 のエアーブローの風量を調整するとき、トレイのエア吹出し確認窓を開いて用紙の給送性を目で確認できます。エアーブローの詳細は、『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。

第2章：コピーする

よく使うコピー機能についての説明をしています。

小冊子機能を使う	2-2
折り機能を使う	2-4
インデックス紙を使う	2-10
製本する	2-12



小冊子機能を使う

小冊子機能を使ってコピーする

1. 原稿をセットして、任意のトレイに用紙をセットする。

▶ 1-5 ページ参照



2. コピー画面を表示して、[応用設定] を押す。



3. [小冊子] を選択する。



4. 任意の設定をして、[OK] を押す。



5. 小冊子と併用する応用機能を選択して、[OK] を押す。

▶ ix ページ参照

- コピー画面にもどります。

▼ 【次ページへ】

6. [出力設定] を押して、小冊子と併用する出力機能を選択する。

7. [OK] を押す。

- コピー画面にもどります。

8. 手順 1 で用紙をセットしたトレイを選択する。

9. 手順1でセットした原稿にあわせて、「片面／両面」下の【片面 -> 両面】または【両面 -> 両面】を選択する。



10. 操作パネルの【スタート】を押す。

こんなことができます

小冊子機能を、以下の機能とあわせて使うと便利です。

- 小冊子 + 枠／折り目消し (ix ページをごらんください。)
 - 小冊子 + スタンプ (x ページをごらんください。)
 - 小冊子 + 中とじ(中とじ断裁)／重ね中折り(重ね中折り断裁) (x ページをごらんください。)

折り機能を使う

用紙をZ折りにする

Z折り機能を使うためには、折り機 FD-503 を装着する必要があります。

1. 原稿をセットする。

2. コピー画面を表示して、[出力設定] を押す。

3. [折り] を押す。



4. [Z折り] を選択して、[OK] を押す。



5. Z折りと併用する出力機能を選択する。

▶ xiii ページ参照

6. [OK] を押す。

- コピー画面にもどります。

▼ [次ページへ]

7. [応用設定] を押して、Z折りと併用する応用機能を選択する。

➡ xiii ページ参照

8. [OK] を押す。

- コピー画面にもどります。

9. 操作パネルの【スタート】を押す。

用紙を重ね中折りにする

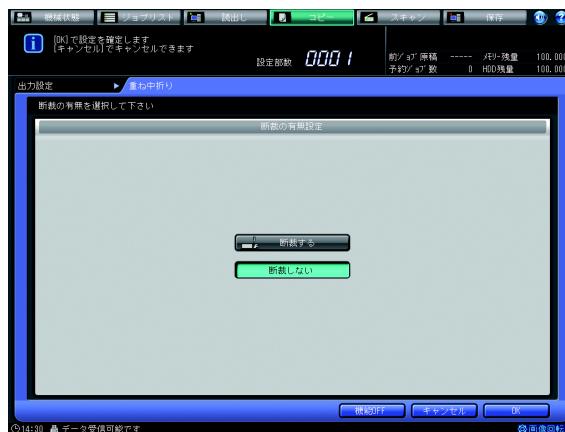
重ね中折り機能を使うためには、中とじ機 SD-506、またはオプションの中とじ機 SD-510 がついたフィニッシャー FS-532 を装着する必要があります。

1. 原稿をセットする。

2. コピー画面を表示して、[出力設定] を押す。

3. [重ね中折り] を押す。

- 中とじ機 SD-506 を装着しているとき、下記の画面が表示されます。
[重ね中折り] を選択すると、断裁の有無を設定する画面が表示されます。[断裁する] または [断裁しない] を選択して、[OK] を押します。





- オプションの中とじ機 SD-510 がついたフィニッシャー FS-532 を装着しているとき、下記の画面が表示されます。



4. [OK] を押す。



5. [応用設定] を押して、重ね中折りと併用する応用機能を選択する。



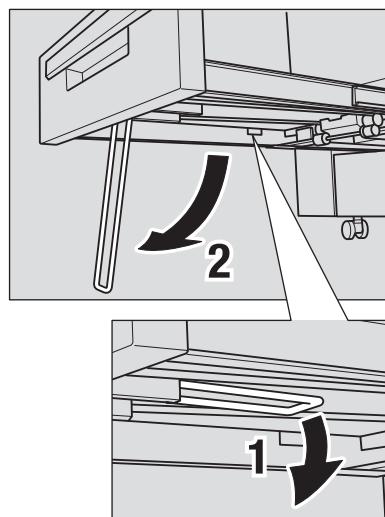
6. [OK] を押す。

- コピー画面にもどります。

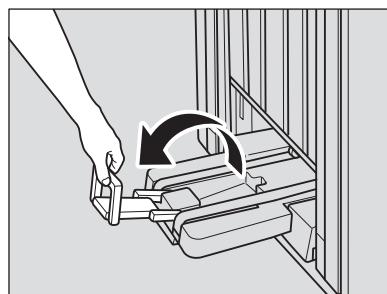


7. 折りトレイを準備する。

- 中とじ機 SD-506 の場合は、折りトレイをいっぱいに引出し、トレイ下のスタンドを立てます。



- オプションの中とじ機 SD-510 がついたフィニッシャー FS-532 の場合は、折りトレイの用紙送出し取手を開きます。



8. 操作パネルの【スタート】を押す。

用紙を重ね三つ折りにする

重ね三つ折り機能を使うためには、中とじ機 SD-506、またはオプションの中とじ機 SD-510 がついたフィニッシャー FS-532 を装着する必要があります。

1. 原稿をセットする。

2. コピー画面を表示して、【出力設定】を押す。

3. 【重ね三つ折り】を押す。

- 中とじ機 SD-506 を装着しているとき、下記の画面が表示されます。

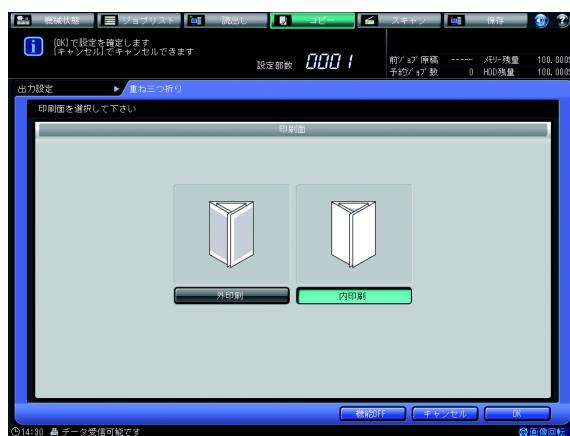




- オプションの中とじ機 SD-510 がついたフィニッシャーFS-532 を装着しているとき、下記の画面が表示されます。



4. [外印刷] または [内印刷] を選択する。



5. [OK] を2回押す。

- コピー画面にもどります。



6. [応用設定] を押して、重ね三つ折りと併用する応用機能を選択する。



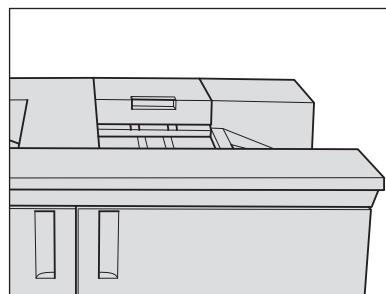
7. [OK] を押す。

- コピー画面にもどります。

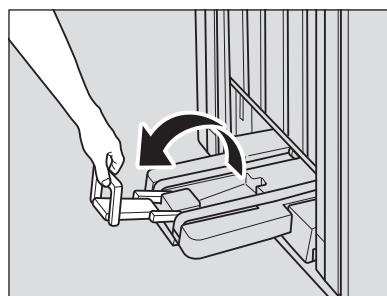
▼【次ページへ】

8. 折りトレイを準備する。

- 中とじ機 SD-506 の場合は、三つ折りトレイに出力されます。



- オプションの中とじ機 SD-510 がついたフィニッシャー FS-532 の場合は、折りトレイの用紙送出し取手を開きます。



9. 操作パネルの【スタート】を押す。

こんなことができます

折り機 FD-503、またはオプションのパンチキット PK-522 がついたフィニッシャー FS-532 を装着している場合、パンチ機能が使えます。

折り機能を、以下の機能とあわせて使うと便利です。

- Z 折り+混載原稿 (xiii ページをごらんください。)
- Z 折り+パンチ (xiii ページをごらんください。)
- Z 折り+平とじステープル (xiii ページをごらんください。)
- 中とじ(中とじ断裁)／重ね中折り(重ね中折り断裁)+小冊子(xiv ページをごらんください。)



インデックス紙を使う

インデックス紙にコピーする

1. 原稿をセットする。

2. 任意のトレイにインデックス紙をセットする。

- インデックス紙をセットしたトレイの用紙種類を [インデックス紙] に設定します。

▶ 1-13 ページ参照

3. コピー画面を表示して、[原稿設定] を押す。

4. 「原稿サイズ」下の [インデックス紙サイズ] を選択する。



5. セットした原稿のインデックス紙サイズを選択する。



6. [OK] を2回押す。

- コピー画面にもどります。

▼【次ページへ】

7. [出力設定] を押して、インデックス紙と併用する出力機能を選択する。



8. [OK] を押す。

- コピー画面にもどります。



9. [応用設定] を押して、インデックス紙と併用する応用機能を選択する。



10. [OK] を押す。

- コピー画面にもどります。



11. 操作パネルの【スタート】を押す。



製本する

Check

- くるみ製本機 PB-503 は、ウォームアップに約 20 分かかります。ご使用の 20 分前には、ヒーターを ON にすることをおすすめします。
- 試しに1部コピーして、設定する背表紙幅を確認することをおすすめします。



くるみ製本を設定する

1. 原稿をセットする。



2. トレイに本身の用紙をセットする。

▶ 1-5 ページ参照

- 本身の用紙は、本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）、またはペーパーフィーダーユニット PF-703/PF-706（トレイ 3～トレイ 8）にセットします。



3. トレイに表紙の用紙をセットします。

- 表紙にコピーする場合、本体トレイ（トレイ 1、トレイ 2）、またはペーパーフィーダーユニット PF-703/PF-706（トレイ 3～トレイ 8）にセットします。
- 表紙にコピーしない場合、上記トレイのほかに、くるみ製本機 PB-503 の表紙トレイ、折り機 FD-503 のポストインサー、または大容量ポストインサー PI-PFU にセットします。



4. コピー画面を表示して、本身の用紙をセットしたトレイを選択する。



5. 必要に応じて、手順 2 で本身の用紙をセットしたトレイの用紙設定を変更する。

▶ 1-16 ページ参照

- 用紙設定の変更は、トレイ設定または用紙予約設定で行います。



6. [出力設定] を押して、[くるみ製本] を押す。

▼ 【次ページへ】

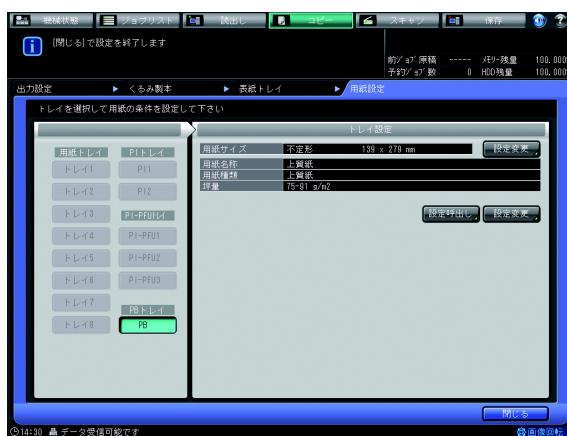
7. 「表紙トレイ」右の【設定変更】を押す。



8. 手順3で表紙をセットしたトレイボタンを選択する。



9. 必要に応じて、【用紙設定変更】を押して表紙トレイの用紙設定を変更する。



10.【閉じる】を押して、【OK】を押す。

▼【次ページへ】



11. 必要に応じて、「表紙印刷」、「表紙印刷面」、「表紙断裁」、「同じ方向」、「背表紙幅」、「微調整」を設定する。

▶ p.2-15 参照



12. [OK] を押す。

- 出力設定画面にもどります。



13. くるみ製本と併用したい出力設定機能を設定する。

▶ xvi ページ参照



14. [OK] を押す。

- コピー画面にもどります。



15. [応用設定] を押して、くるみ製本と併用する応用機能を選択する。

▶ xvi ページ参照



16. [OK] を押す。

- コピー画面にもどります。



17. 操作パネルの【スタート】を押す。

くるみ製本のモードについて

表紙白紙モード

表紙トレイにセットした用紙を、表紙として印刷しないでくるみ製本します。
「表紙印刷」で「なし」を選択します。



表紙印刷 2in1 モード

表紙トレイにセットした用紙に 2in1 で印刷し、くるみ製本します。背表紙は印刷しません。
「表紙トレイ」で「トレイ 1」～「トレイ 8」から 1 つ選択し、「表紙印刷」で「あり」を選択します。
原稿の 1 ページ目をオモテ表紙、最終ページ (n ページ) をウラ表紙とし、残りのページ (2 ページ目から n-1 ページ) を本身の原稿として用意します。



MEMO

- 表紙印刷 2in1 モードで使用できるトレイは、「トレイ 1」～「トレイ 8」です。[PB]（くるみ製本機の表紙トレイ）、[PI1]、[PI2]（折り機 FD-503 のポストインサータートレイ）は、使用できません。

表紙トレイ

表紙をセットするトレイを選択します。

表紙印刷

印刷できるトレイを選択したとき、表紙に印刷するか、しないかを選択します。

表紙印刷面

「表紙印刷」で「あり」を選択したとき、くるみ製本表紙を両面印刷するか、しないかを選択します。

表紙断裁

くるみ製本の表紙を断裁するとき、「あり」を選択します。

とじ方向

「左とじ」または「右とじ」を選択します。

背表紙幅

1～30 mm の範囲で 0.1 mm 刻みで設定します。

微調整

表紙位置、断裁量、および表紙印刷をするときの画像位置を微調整します。



こんなことができます

くるみ製本機能では、以下の機能とあわせて使うと便利です。

- くるみ製本+とじしろ設定 (xvi ページをごらんください。)
- くるみ製本+スタンプ (xvii ページをごらんください。)

第3章：プリントする

本機をプリンターとして使用する場合の、ドライバーのインストール方法、操作方法、およびその機能について説明します。

3
プリントする

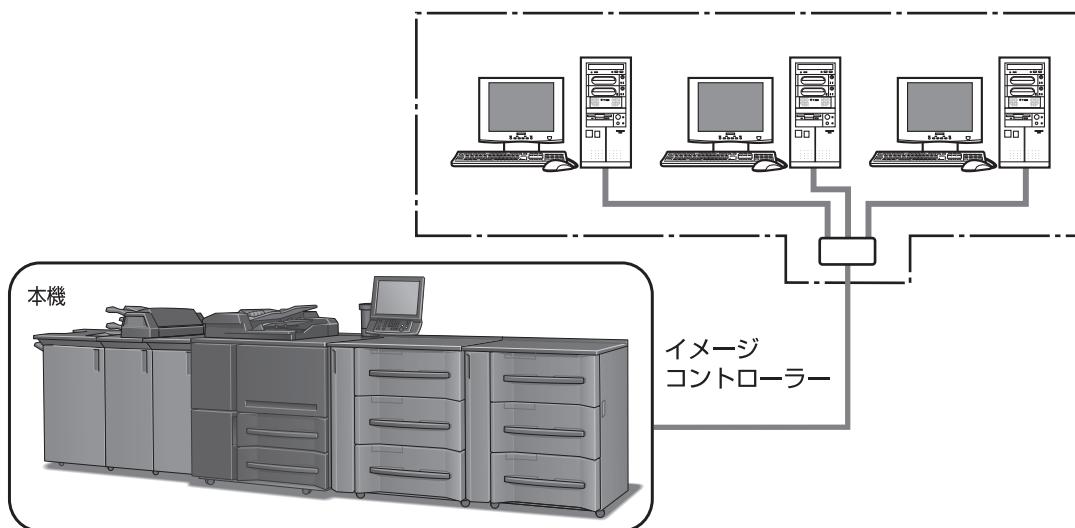
プリンタードライバーについて	3-2
プリンタードライバーのインストール	3-3
プリンタードライバーの印刷設定画面	3-9
小冊子機能を使う	3-12
折り機能を使う	3-14
インデックス紙を挿入する	3-16
ページごとに設定を変更してプリントする	3-20
製本する	3-23



プリンタードライバーについて

本機をプリンターとして使用するドライバーの概要を説明します。

ネットワークプリンターとして使用した場合



Check

- 本機をプリンターとして使用するには、ネットワーク設定が必要です。設定方法は、『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。また、本機を含むローカルネットワークについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

MEMO

- プリンタードライバーのインストールについては、3-3 ページをごらんください。

プリンタードライバーのインストール

付属の「Driver CD-ROM」からプリンタードライバーをお使いのコンピューターにインストールすると、本機をプリンターとして使用できます。

本製品では、以下のプリンタードライバーが用意されています。

- PS Plug-in ドライバー（Windows/Mac OS X 用プリンタードライバー）
- PCL ドライバー（Windows 用プリンタードライバー）
- PS PPD ドライバー（Windows/Mac OS X 用プリンタードライバー）

対応 OS

本製品のプリンタードライバーは、以下のオペレーティングシステムに対応しています。

- Windows 2000/XP/Vista/7
- Windows Server 2003/Server 2008
- Mac OS X v10.4 ~ v10.6

プリンタードライバーのインストール

本書では、インストーラーを使って PS Plug-in ドライバーおよび PCL ドライバーをインストールする手順を説明します。

Check

- プリンタードライバーをコンピューターにインストールするときは、本体側をネットワーク設定して、コンピューターとネットワーク接続する必要があります。ネットワーク設定については、『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。
- インストールの前に「Driver CD-ROM」を準備してください。
- プリンタードライバーは、必要な権限をもったシステム管理者、または機械管理者がインストールすることをおすすめします。
- ここでは、Windows 7 をお使いのコンピューターにインストールするときの画面で説明します。ほかの OS をお使いの場合は、それぞれの OS の解説書をごらんください。

PS Plug-in ドライバーをインストールする

1. Driver CD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブに入れる。

- [ユーザー アカウント制御] についての画面が表示されるときは、[許可] または [続行] をクリックします。
- インストーラーが起動しないときは、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて、Autorun.exe をダブルクリックします。



2. 画面に従い、必要なプリンタードライバーを選択する。

- プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

【次ページへ】

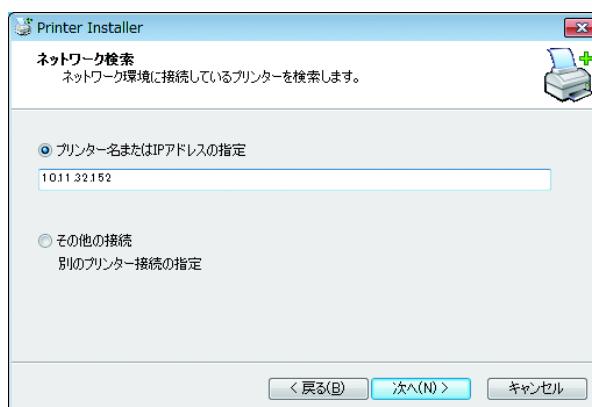


3. [次へ] をクリックする。



4. プリンターナ名または IP アドレスを入力して、[次へ] をクリックする。

- [プリンターナ名または IP アドレスの指定] にプリンターナ名または IP アドレスを入力します。本機が Windows プリンターとして設定されます。



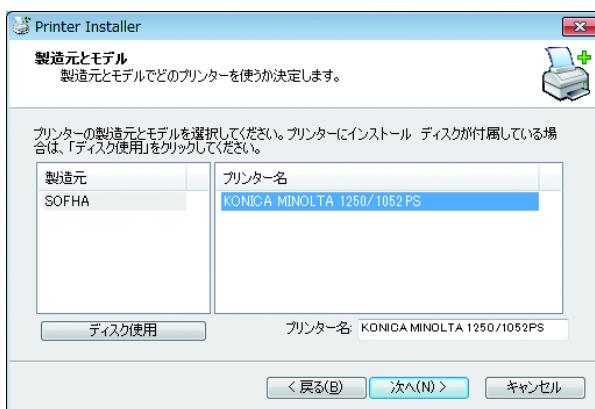
- 本機を別のプリンターとして設定するときは、[その他の接続] を選択します。プリンター接続を指定して、[次へ] をクリックします。NetBIOS または port9100 を指定します。



- ネットワークで DNS を使用している場合は、本機に割当てられているネットワーク名と、DNS に設定されているネットワーク名が、一致しているかどうかを、確認する必要があります。

▼【次ページへ】

5. プリンターナーを選択して、[次へ] をクリックする。



- インストール可能なプリンターが表示されます。
- インストールするプリンターナーが表示されない場合は、[ディスク使用] をクリックして、[Setup.inf] ファイルを選択します。

6. [完了] をクリックする。



- インストールが完了します。
- アプリケーションの印刷画面から本機をプリンターとして選択できます。

7. インストール完了後、装置情報の更新を行う。

PCL ドライバーをインストールする

1. Driver CD-ROMをコンピューターのCD-ROM ドライブに入れる。

- [ユーザーアカウント制御] についての画面が表示されるときは、[許可] または [続行] をクリックします。
- インストーラーが起動しないときは、CD-ROM 内のプリンタードライバーのフォルダーを開いて、Autorun.exe をダブルクリックします。

2. 画面に従い、必要なプリンタードライバーを選択する。

- プリンタードライバーのインストーラーが起動します。

▼【次ページへ】

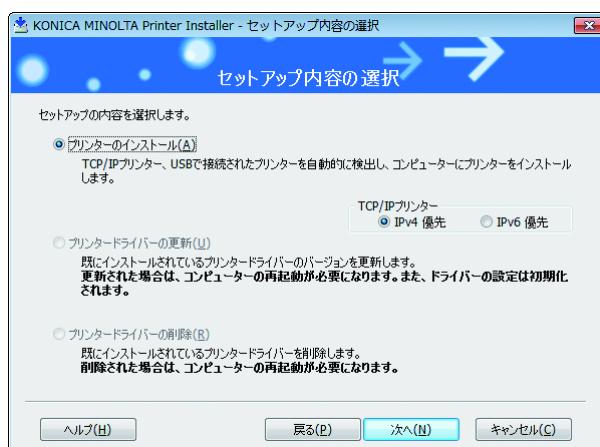


3. [同意します] をクリックする。

- 言語が表示されているボックスで、インストーラーの表示言語を変更できます。



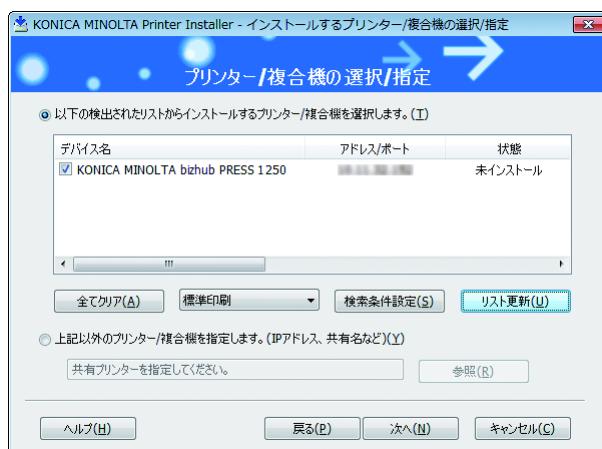
4. [プリンターのインストール] を選択し、[次へ] をクリックする。



- プリンタードライバーが本機を IPv4 と IPv6 の両方で検出したとき、どちらを優先するかを選択できます。[IPv4 優先] または [IPv6 優先] のラジオボタンを選択します。

▼【次ページへ】

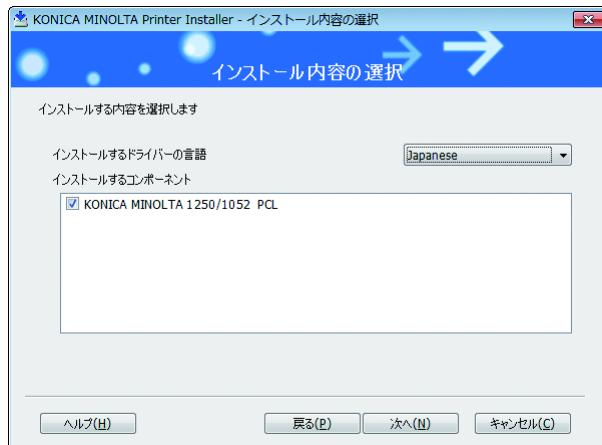
5. 本機を選択して、[次へ] をクリックする。



- ネットワーク接続しているデバイスで、プリンタードライバーに対応したデバイスだけがリスト表示されます。デバイスが複数表示されるときは、IP アドレスで確認してください。
- 本機がリスト表示されないときは、[上記以外のプリンター／複合機を指定します。(IPアドレス、共有名など)] のラジオボタンを選択し、手動で指定してください。



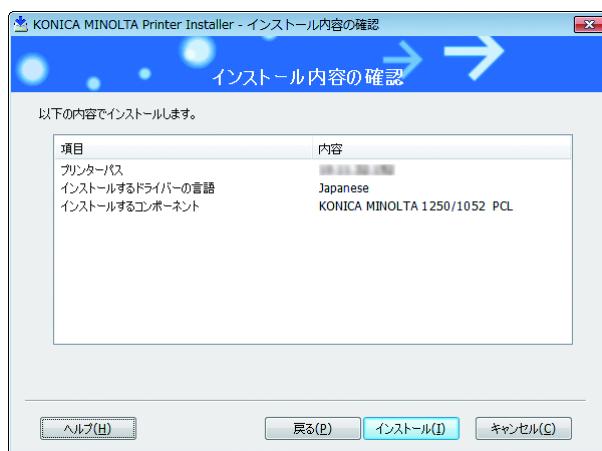
6. インストールするコンポーネントを選択し、[次へ] をクリックする。



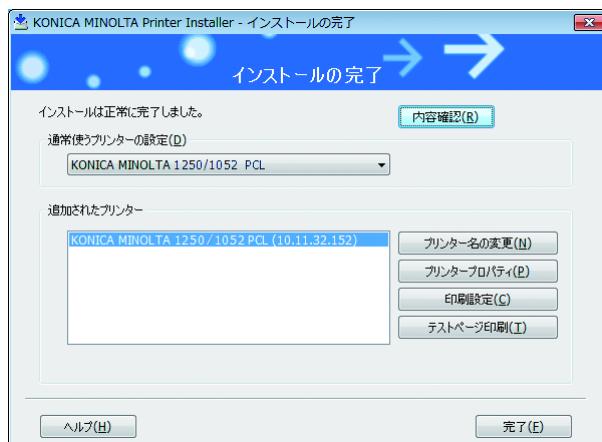
▼【次ページへ】



7. インストール内容を確認し、[インストール] をクリックする。



8. [完了] をクリックする。



- インストールが完了します。
- [インストール完了] 画面では、インストール項目を確認したり、設定を変更したりできます。

[内容確認]	インストール内容を確認します。
[プリンターネームの変更]	プリンターネームを変更します。
[プリンタープロパティ]	プリンタープロパティ設定を行います。 詳しくは、『ユーザーズガイド プリンター編』をごらんください。
[印刷設定]	プリンタードライバーの [印刷設定] 画面を表示し、各種機能を設定します。 詳しくは、『ユーザーズガイド プリンター編』をごらんください。
[テストページ印刷]	テストページを印刷します。

プリンタードライバーの印刷設定画面

プリンタードライバーの印刷設定画面は、アプリケーションの印刷コマンドで表示します。

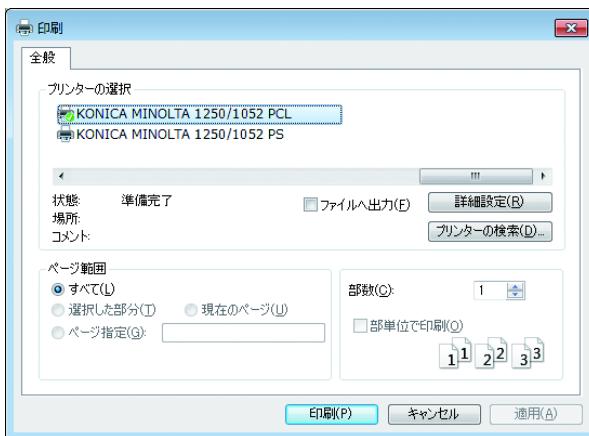
Check

- 印刷コマンドは、アプリケーションによって異なります。ここでは、Windows 7 のメモ帳を使った場合の手順について説明します。

印刷設定画面を表示する

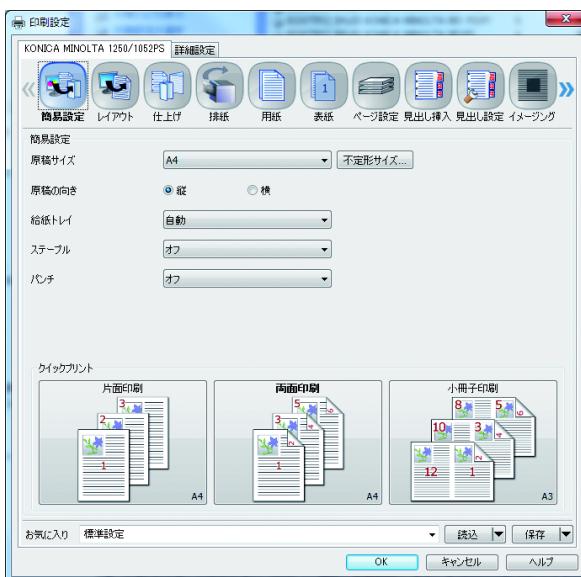
- アプリケーションの【ファイル】メニューから【印刷】を選択する。

- プリンターを選択して【詳細設定】をクリックする。



- アプリケーションによって画面が異なります。

- 印刷設定画面で、必要に応じて設定を変更する。



- 【OK】をクリックし、【印刷】をクリックする。

- 本機から印刷されます。



装置情報の更新

プリンタードライバーをインストールしたら、ドライバー上で本体のオプションの情報を更新することをおすすめします。

Check

- インストールしたドライバー上で装置情報を更新しないと、ドライバーに対応している本機の機能を一部しか使用できないことがあります。
- ここでは、Windows 7をお使いのコンピューターにインストールするときの画面で説明します。ほかのOSをお使いの場合は、それぞれのOSの解説書をごらんください。

PS Plug-in ドライバーで装置情報を更新する

- アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。



- [オプション] タブをクリックする。



- [装置情報取得] をクリックする。



- 本体から装置情報を取得します。[装置情報取得] の右に  が表示されていれば、装置情報は取得されています。本体から装置情報が取得できない場合は、ネットワーク設定を確認してください。



- [OK] をクリックする。

PCL ドライバーで装置情報を更新する

1. [スタート] → [デバイスとプリンター] を選択する。

2. 設定したいプリンターアイコンを右クリックして、[プリンタのプロパティ] を選択する。

3. [装置情報] タブを選択する。

4. [装置情報取得] をクリックして、確認画面が表示してから、[はい] をクリックする。

- 装置情報が更新されます。



5. 必要に応じて、その他の設定をする。

6. [OK] をクリックして、プロパティ画面を閉じる。



小冊子機能を使う

小冊子機能を使ってプリントする

PS Plug-in ドライバーの場合

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。

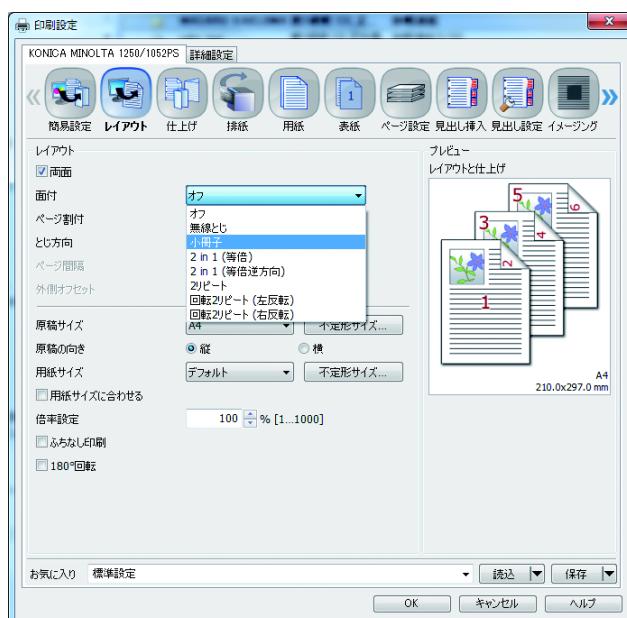
▶ 3-9 ページ参照



2. [レイアウト] タブをクリックする。



3. [面付け] 右の項目欄をドラッグして、[小冊子] を選択する。



4. 必要に応じて、その他の機能を設定する。

▶ ix ページ参照



5. [OK] をクリックする。



6. [印刷] をクリックする。

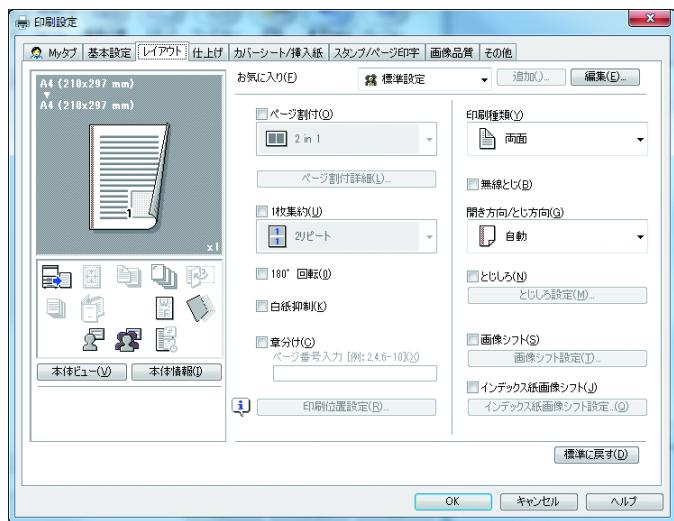
PCL ドライバーの場合

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。

▶ 3-9 ページ参照

2. [レイアウト] タブを選択する。

3. [印刷種類] で [小冊子] を選択する。



4. 必要に応じて、その他の機能を設定する。

▶ ix ページ参照

5. [OK] をクリックする。

6. [印刷] をクリックする。

こんなことができます

製本機能を、以下の機能とあわせて使うと便利です。

- 小冊子+章分け (ix ページをごらんください。)
- 小冊子+スタンプ (x ページをごらんください。)
- 小冊子+中とじ(中とじ断裁)／重ね中折り(重ね中折り断裁) (x ページをごらんください。)

折り機能を使う

折り機能を使ってプリントする

PS Plug-in ドライバーの場合

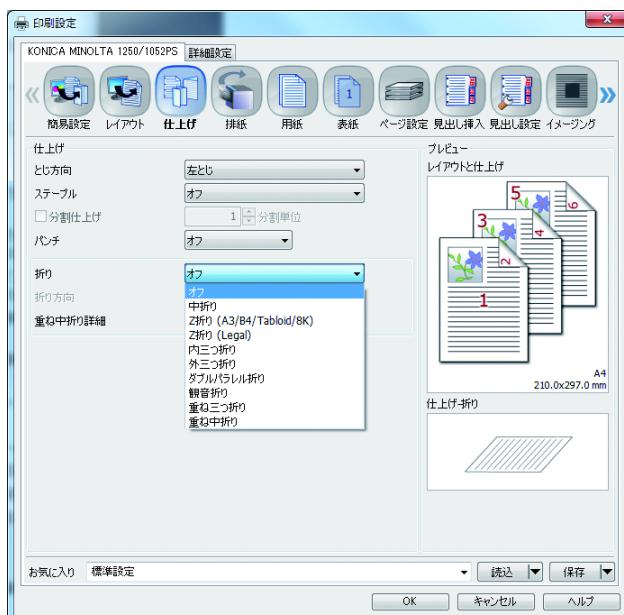
1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。

▶ 3-9 ページ参照

2. [仕上げ] タブをクリックする。

- 装置オプションの設定によって、プリンタードライバー上に [仕上げ] タブが表示されない場合があります。

3. [折り] 右の項目欄をドラッグして、任意の折りを選択する。



- [折り] が表示されていない場合は、[装置情報] パネルで、必要なオプションを設定してください。(▶ 3-10 ページ参照)

4. 必要に応じて、その他の機能を設定する。

▶ xiii ページ参照

5. [OK] をクリックする。

6. [印刷] をクリックする。

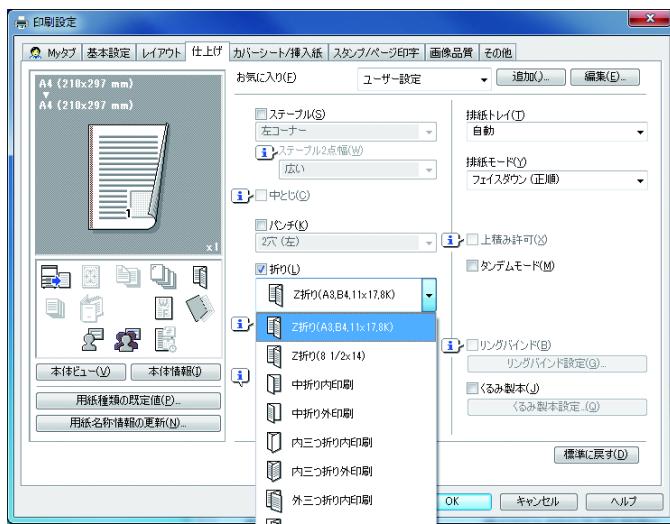
PCL ドライバーの場合

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。

3-9 ページ参照

2. [仕上げ] タブを選択する。

3. [折り] から設定する折りを選択する。



4. 必要に応じて、その他の機能を設定する。

xiii ページ参照

5. [OK] をクリックする。

6. [印刷] をクリックする。

こんなことができます

中とじ機 SD-506、またはオプションの中とじ機 SD-510 がついたフィニッシャー FS-532 を装着するとセンターステープルを使用できます。

折り機 FD-503、またはオプションのパンチキット PK-522 がついたフィニッシャー FS-532 を装着するとパンチ穴を開けることができます。

折り機能を、以下の機能とあわせて使うと便利です。

- Z 折り+パンチ (xiii ページをごらんください。)
- Z 折り+平とじステープル (xiii ページをごらんください。)
- 中とじ(中とじ断裁)／重ね中折り(重ね中折り断裁)+小冊子(xiv ページをごらんください。)



インデックス紙を挿入する

10ページごとにインデックス紙を挿入する

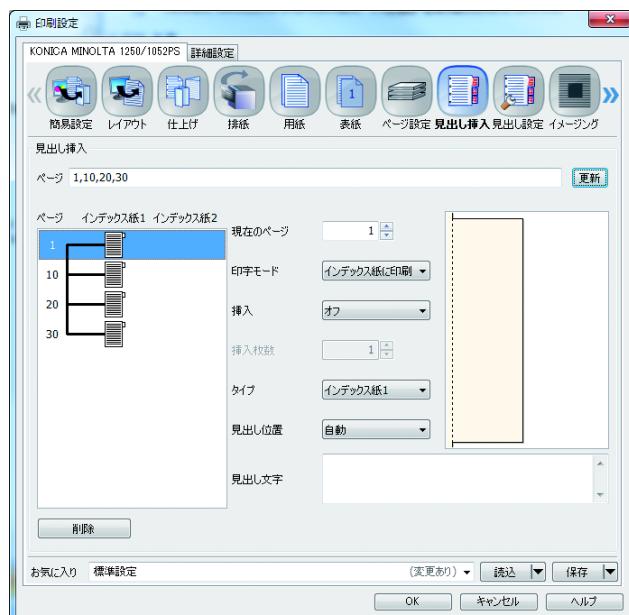
PS Plug-in ドライバーの場合

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。

▶ 3-9ページ参照

2. [見出し挿入] を選択する。

3. 挿入ページとして [1,10,20,30] を [ページ] に入力して、[更新] をクリックする。

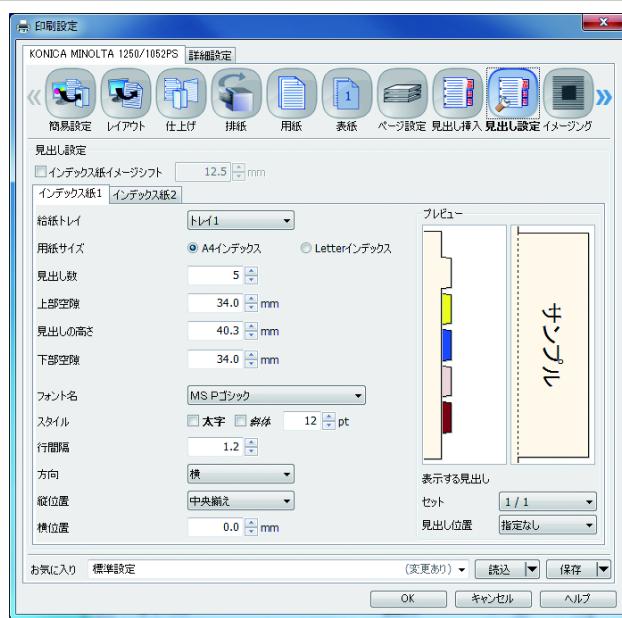


4. 必要に応じて、印字モード、挿入枚数、見出し位置、見出し文字を設定する。

5. [見出し設定] をクリックする。

▼ [次ページへ]

6. 必要に応じて、[見出し設定] パネルで任意に設定する。



7. [ページ設定] をクリックする。

3-20 ページ参照

8. ページごとの設定を確認する。



9. 必要に応じて、その他の機能を設定する。

xv ページ参照

10. [OK] をクリックする。

11. [印刷] をクリックする。



PCL ドライバーの場合

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。

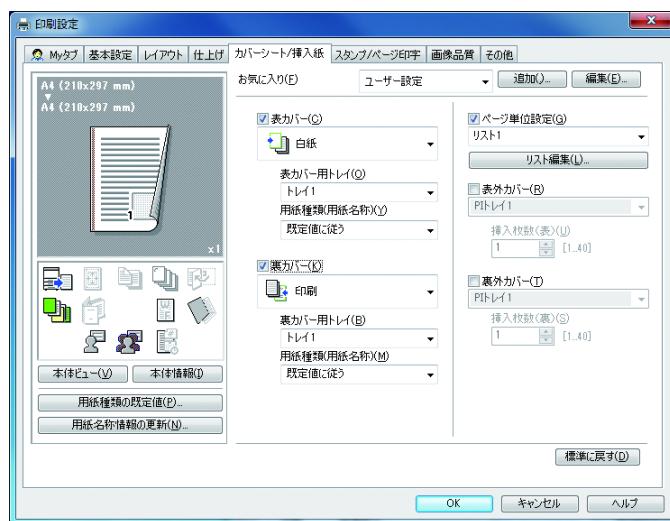
▶ 3-9 ページ参照



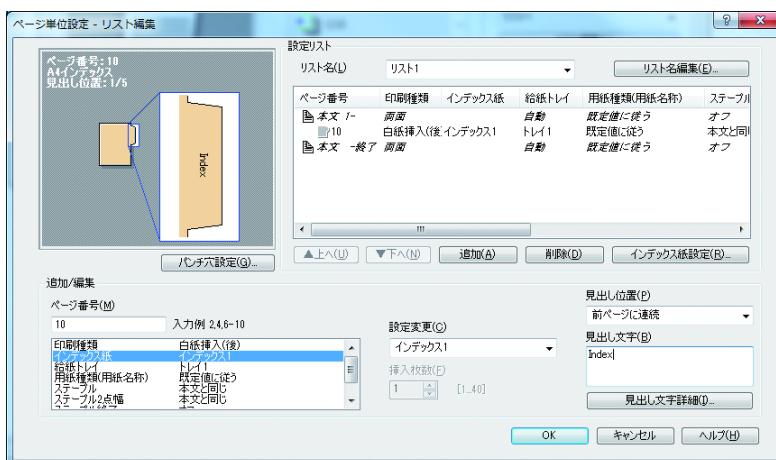
2. [カバーシート／挿入紙] タブを選択する。



3. [ページ単位設定] をチェックし、[リスト編集] を選択する。



4. [追加] をクリックし、ページ番号に [10] と入力する。



5. [インデックス紙] を選択し、[設定変更] で [インデックス 1] または [インデックス 2] を選択する。



6. 必要に応じて、[インデックス紙設定]、[見出し位置]、[見出し文字]、[見出し文字詳細] を設定し、[OK] をクリックする。

▼【次ページへ】

7. 必要に応じて、その他の機能を設定する。

▶▶ ix ページ参照

8. [OK] をクリックする。

9. [印刷] をクリックする。

こんなことができます

折り機 FD-503、またはオプションのパンチキット PK-522 がついたフィニッシャー FS-532 を装着しているとインデックス紙にパンチ穴を開けることができます。

インデックス紙を、以下の機能とあわせて使うと便利です。

- インデックス紙挿入+パンチ (xy ページをごらんください。)



ページごとに設定を変更してプリントする

Check

- ページ単位でパンチを設定する場合、[装置情報] タブでフィニッシャー FS-532 にパンチキット PK-522、または Z 折りユニット ZU-608 が装着されていることを確認してください。詳しくは、3-10 ページをごらんください。



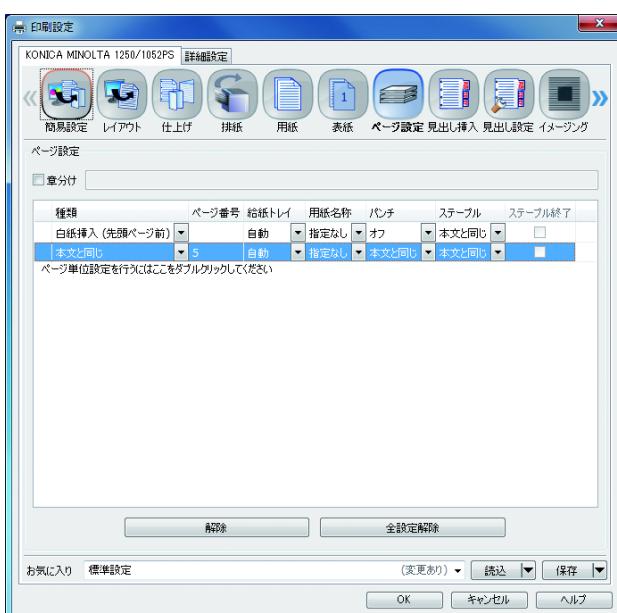
5 ページ目の設定を変更する場合

PS Plug-in ドライバーの場合

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。 ▶ 3-9 ページ参照

2. [ページ設定] タブをクリックする。

3. [ページ単位設定を行うにはここをダブルクリックしてください] をダブルクリックし、[ページ番号] に [5] を入力する。



4. 必要に応じて、その他の機能を設定する。

5. [OK] をクリックする。

6. [印刷] をクリックする。

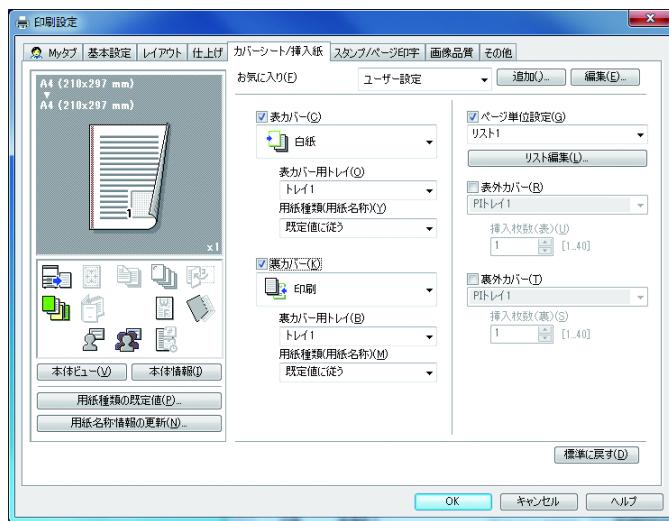
PCL ドライバーの場合

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。

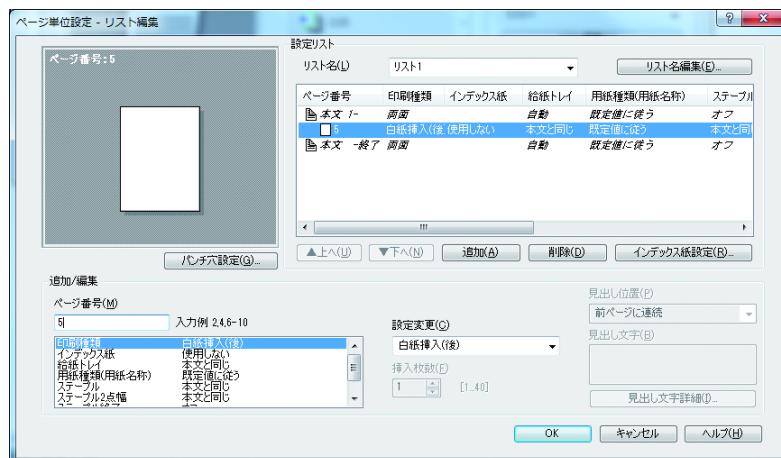
3-9 ページ参照

2. [カバーシート／挿入紙] タブを選択する。

3. [ページ単位設定] をチェックし、[リスト編集] を選択する。



4. [追加] をクリックし、ページ番号に [5] と入力する。



5. 設定変更したい項目をリストから選択し、[設定変更] リストから設定値を選択する。

6. [OK] をクリックし、[ページ単位設定] – [リスト編集] 画面を閉じる。

▼【次ページへ】



7. 必要に応じて、その他の機能を設定する。



8. [OK] をクリックする。



9. [印刷] をクリックする。

製本する

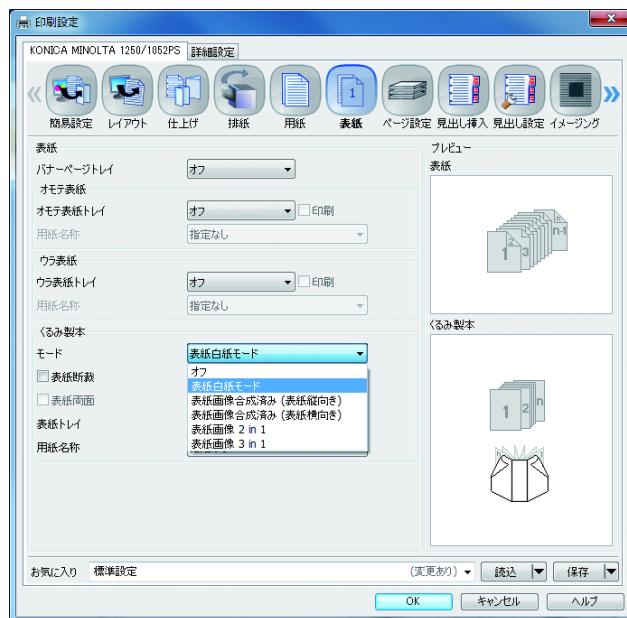
PS Plug-in ドライバーの場合

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。

➡ p.3-9 参照

2. [表紙] タブを選択する。

3. 「くるみ製本」下の「モード」右側のプルダウンメニューをドラッグして、任意の製本モードを選択する。



- 「くるみ製本」が表示されていないときは、[装置情報] パネルで、[くるみ製本機] を設定してください。(➡ p.3-10 参照)

4. 必要に応じて、[表紙断裁]、[表紙両面]、[表紙トレイ]、[表紙サイズ]、[用紙種類] を設定する。

5. 必要に応じて、その他の機能を設定する。

➡ xvi ページ参照

6. [OK] をクリックする。

7. [印刷] をクリックする。



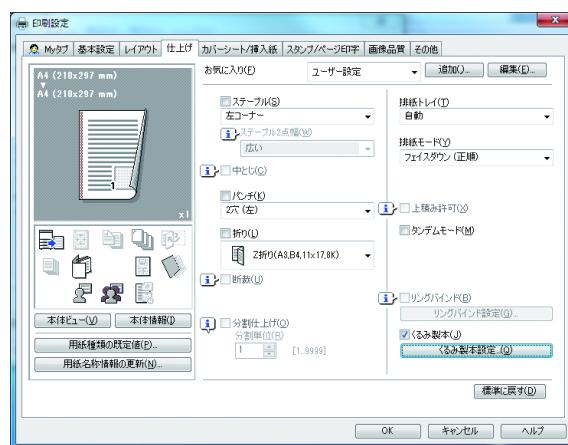
PCL ドライバーの場合

1. アプリケーションの印刷コマンドを選択して、プリンタードライバーの印刷設定画面を表示する。

▶ p.3-12 参照

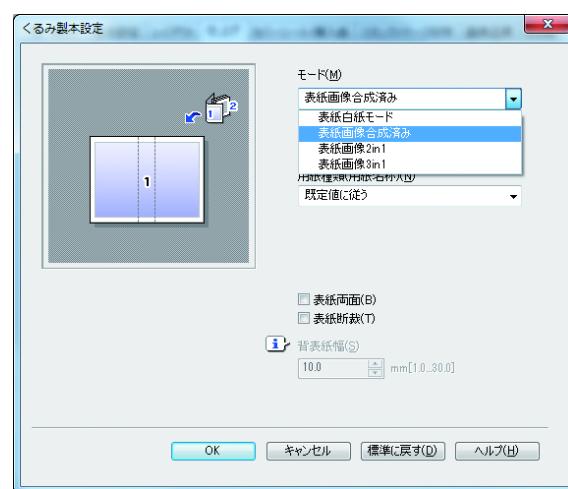
2. [仕上げ] タブを選択する。

3. [くるみ製本] のラジオボタンをチェックし、[くるみ製本設定] を選択する。



4. 「モード」以下のプルダウンメニューをドラッグして、任意のくるみ製本モードを選択する。

▶ p.3-26 参照



5. 「表紙トレイ」以下のプルダウンメニューをドラッグして、表紙の用紙をセットしたトレイを選択する。

▼ [次ページへ]



6. 必要に応じて、[用紙種類]、[表紙両面]、[表紙断裁]、[背表紙幅] を設定して、[OK] をクリックする。



7. 必要に応じて、その他の機能を設定する。

▶ xvi ページ参照



8. [OK] をクリックする。



9. [印刷] をクリックする。



くるみ製本のモードについて

表紙白紙モード

表紙トレイにセットした用紙を、表紙として印刷しないでくるみ製本します。



表紙画像合成済み

表紙に使用する紙と同じサイズに表紙、裏表紙、背表紙が面付けされた原稿を準備して、くるみ製本します。



表紙画像 2in1

表紙トレイにセットした用紙に 2in1 で印刷し、くるみ製本します。背表紙は印刷しません。
「表紙トレイ」で [トレイ 1] ~ [トレイ 8] から 1 つ選択します。

原稿の 1 ページ目を表紙、最終ページ (n ページ) を裏表紙とし、残りのページ (2 ページ目から $n-1$ ページ) を本身の原稿として用意します。

背表紙幅の設定は、プリンタードライバーで行います。設定範囲は 1 ~ 30 mm で、0.1 mm 単位で設定します。



MEMO

- 表紙画像 2in1 で使用できるトレイは、[トレイ 1] ~ [トレイ 8] です。

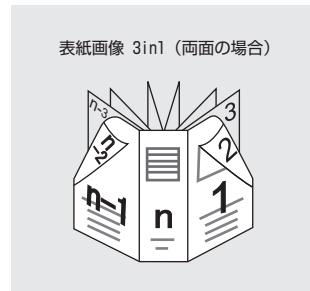
表紙画像 3in1

表紙トレイにセットした用紙に 3in1 でオモテ表紙、ウラ表紙、および背表紙を印刷し、くるみ製本します。

「表紙トレイ」で [トレイ 1] ~ [トレイ 8] から 1 つ選択します。

原稿の 1 ページ目をオモテ表紙、最終ページの 1 ページ前 (n-1 ページ) をウラ表紙、および最終ページ (n ページ) を背表紙として用意します。そして、残りのページ (2 ページ目から n-2 ページ) を本身の原稿として用意します。

背表紙幅の設定は、プリンタードライバーで行います。設定範囲は 1 ~ 30 mm で、0.1 mm 単位で設定します。



MEMO

- 表紙画像 3in1 で使用できるトレイは、[トレイ 1] ~ [トレイ 8] です。

表紙トレイ

表紙をセットするトレイを選択します。

表紙両面

くるみ製本表紙を両面印刷するとき、[ON] を選択します。

表紙断裁

くるみ製本の表紙を断裁するとき、[あり] を選択します。

背表紙幅

1 ~ 30 mm の範囲で 0.1 mm 単位で設定します。

用紙名称（用紙種類）

本体に登録されている用紙名称を選択します。

こんなことができます

くるみ製本機能では、以下の機能とあわせて使うと便利です。

- くるみ製本+とじしろ設定 (xvi ページをごらんください。)
- くるみ製本+スタンプ (xvii ページをごらんください。)

第4章：スキャンする

ネットワークスキャナー機能について説明しています。

ネットワークスキャナー機能.....	4-2
E-mail アドレスへの送信.....	4-3
SMB サーバーへの送信	4-7



ネットワークスキャナー機能

本機は、ADF や原稿ガラスを使用して読み込んだデータ（スキャンデータ）を、下記に送ります。

- E-mail アドレス
- ハードディスク
- FTP サーバー
- SMB サーバー

ここでは、E-mail アドレスへの送信と SMB サーバーへの送信の仕方を説明します。

Check

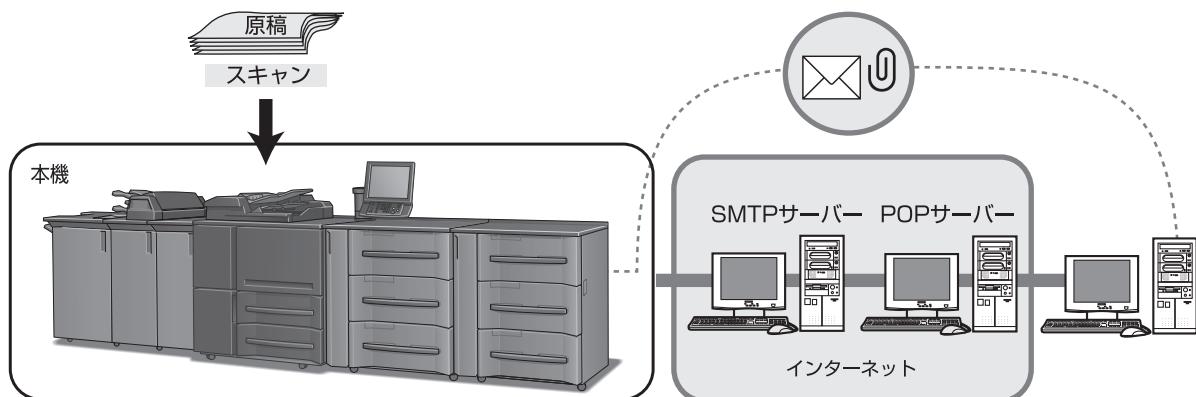
- スキャンデータを送るには、本体のネットワーク設定が必要です。ネットワーク設定については、『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。

MEMO

- その他のネットワークスキャナー機能については、『ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編』をごらんください。

E-mail アドレスへの送信

スキャンデータを、添付ファイルとして E-mail の宛先に送信します。



スキャンデータを E-mail に添付して送る

1. ネットワークの設定を行う。

2. スキャンする原稿をセットする。

3. タッチパネルで [スキャン] を押す。

4. [E-mail] が選択されていることを確認する。



▼【次ページへ】



5.宛先を設定する。

- 登録してある宛先に送るとき
宛先を選択します。
宛先を表示するときは、[50音]、[英数字]、[その他]、[常用] を押します。
宛先を検索するときは、[検索] を押してから検索文字を入力します。
複数の宛先を選択できます。



- 登録していない宛先に送るとき
[宛先入力] を押します。
宛先入力画面で [アドレス]、[登録名]、[検索文字] をそれぞれ選択してから、情報を入力します。
宛先として設定するときは、[OK] を押します。
宛先として登録するときは、[登録] を押します。



▼【次ページへ】



6. メールの表題と本文を設定する。

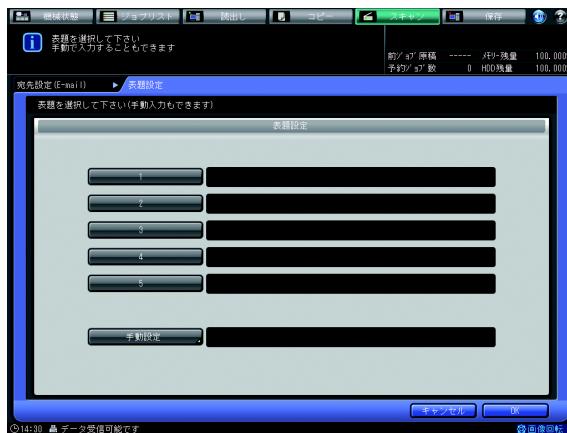
● 表題を設定するとき

[表題設定] を押します。

表題設定画面で、定型の表題を使用するか、手動で表題を作成するかを選択します。

定型の表題を使用するときは、[1] ～ [5] のいずれかを選択して、[OK] を押します。

手動で表題を作成するときは、[手動設定] を押して、文字を入力してから、[OK] を押します。



● 本文を設定するとき

[本文設定] を押します。

本文設定画面で、定型の本文を使用するか、手動で本文を作成するかを選択します。

定型の本文を使用するときは、[1] ～ [5] のいずれかを選択して、[OK] を押します。

手動で本文を作成するときは、[手動設定] を押して、文字を入力してから、[OK] を押します。



7. [読み込み設定] を押す。

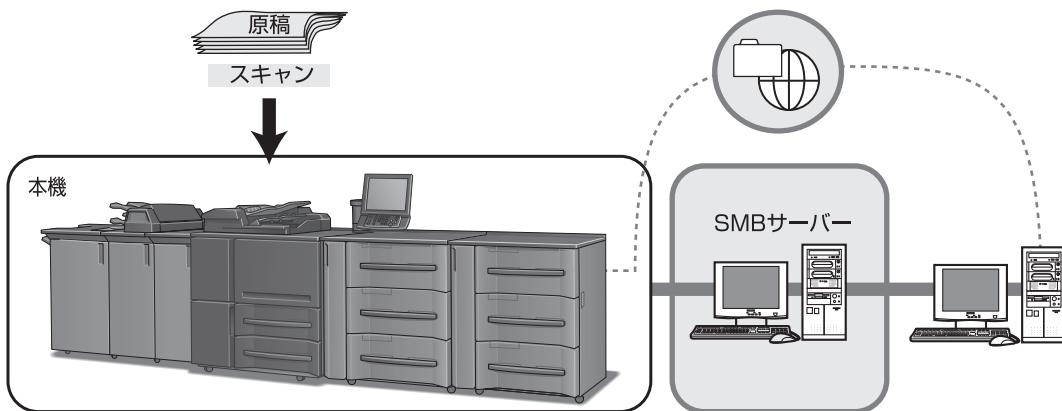
[次ページへ]

**8. 必要に応じて、読み込みの設定をする。****9. 操作パネルの【スタート】を押す。****MEMO**

- 宛先の登録については、『ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編』をごらんください。
- 表題と本文の登録については、『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。

SMB サーバーへの送信

スキャンデータをコンピューターの共有サーバーに送信します。



スキャンデータをコンピューターの共有サーバーに送る

1. ネットワークの設定を行う。

2. 必要に応じて、デスクトップに SMB フォルダーを準備する。

3. スキャンする原稿をセットする。

4. タッチパネルで [スキャン] を押す。

5. [SMB] を押す。



▼【次ページへ】



6.宛先を設定する。

- 登録してある宛先に送るとき
宛先を選択します。
宛先を表示するときは、[50 音]、[英数字]、[その他]、または [常用] を押します。
宛先を検索するときは、[検索] を押して、検索文字を入力します。
複数の宛先を選択できます。



- 登録していない宛先に送るとき
[宛先入力] を押します。
宛先入力画面で [登録名]、[検索文字]、[ホストアドレス]、[ファイルパス]、[ログイン名]、および [パスワード] をそれぞれ選択して、情報を入力します。
宛先として設定するときは、[OK] を押します。
宛先として登録するときは、[登録] を押します。



7. [読み込み設定] を押す。





8. 必要に応じて、読み込みの設定をする。



9. 操作パネルの【スタート】を押す。

MEMO

- 宛先の登録については、『ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編』をごらんください。

第5章：困ったときには

困ったときなどのトラブルシューティングを説明しています。

トナーを補給する	5-2
ジャム処理	5-4
モアレの発生を防ぐ	5-8
ToneCurve Utility を使用する	5-9
給紙、排紙のトラブル	5-12
表裏の位置を調整する	5-13
折り、とじ位置、断裁量を調整する	5-14
設定がうまく機能しない	5-16



トナーを補給する

本機には、トナーボトル1本分のトナーが入るトナーホッパー（トナー貯蔵庫）があります。

トナーボトルが空になり、トナーホッパー内の残量も少なくなると、画面のメッセージ表示部には「[トナーを入れて下さい]」というメッセージが、画面右下の機械状態表示部には、トナー補給アイコンが表示されます。

トナーホッパー内のトナーもなくなると、「[トナーがなくなりました トナーボトルを交換して下さい]」というメッセージが表示されます。

また、機械状態画面の補給／廃棄部材表示部には、トナーホッパー内の残量に応じて、下記のように表示されます。

【トナーボトル交換できます（ホッパー内残量：3/4）】

【トナーボトルを交換して下さい（ホッパー内残量：1/4）】

【トナーがなくなりました トナーボトルを交換して下さい】



Check

- トナーボトルを交換するときは、トナーユニットレバーの前面に表示されているトナータイプナンバーを確認して、必ず同じナンバーのトナーボトルをご使用ください。異なるトナーボトルを使用すると、故障の原因になります。
- 使用済みのトナーボトルは、新しいトナーボトルについていたカバーをして、梱包箱に入れてください。その後の処理は、サービス実施店にお問い合わせください。

⚠ 警告

トナーやトナーボトル（使用済みのトナーボトルも含めて）は、絶対に火中に投じないでください！

トナーやトナーボトルを火中に投じると、トナーが飛散って、やけどをするおそれがあり、とても危険です。

- 使用済みのトナーボトルは、サービス実施店が回収します。

⚠ 注意

トナーボトルの保管や取扱いに注意してください！

トナーは、大量に吸ったり、目に入ったりすると、健康を害します。

- トナーボトルは、子供の手の届かないところに保管してください。
- 本体の内部、衣服や手をトナーで汚さないように、注意して取扱ってください。
- トナーで手を汚してしまったときは、水や中性洗剤で洗い流してください。
- トナーが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

トナー補給方法を確認する

1. タッチパネル右上の、または操作パネルの【ヘルプ】を押す。

- ## 2. [補給 / 廃棄方法] を押す。

- ### 3. [トナー補給] タブを押す。

4. [▼] または [▲] を押して、トナー補給の手順を確認する。





ジャム処理

出力中に紙づまりが発生すると、[紙づまりです] というメッセージと紙づまりの箇所が、画面に表示されます。

このとき、操作パネルの【スタート】ランプはオレンジ色に変わり、紙づまりが適切に処理されるまで、機械は動作しなくなります。

紙づまりが複数の箇所で発生していると、それらすべてのジャム番号や矢印が点滅、または点灯します。

点滅しているジャム番号や矢印は、最優先で処理すべき位置をあらわしています。

メッセージ表示部には、処理方法が表示されます。

ジャム位置画面



ジャム処理画面



[ジャム位置表示] を押すと、ジャム位置画面にもどります。

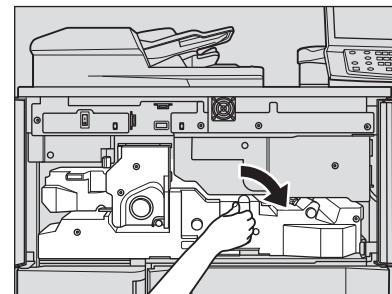
紙づまり処理が終わると、機械状態画面にもどります。

主電源スイッチ

紙づまりを処理するときに、主電源スイッチを OFF にしないでください。トレイや定着搬送ユニットを引出すことができなくなります。

レバー [M4] の操作

定着搬送ユニットを引き出すレバー [M4] は、本体の給紙入口部および排紙部につまつた紙があると、右に倒して定着搬送ユニットを引出せません。絶対に、レバー [M4] を無理に倒さないでください。

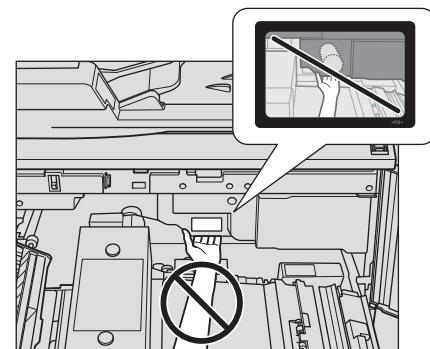


つまつた紙の取扱い

つまつた紙を取除くときは、破れた紙片を機械の内部に残さないようにしてください。紙片を残すと、紙づまりを繰返し起こす原因になります。

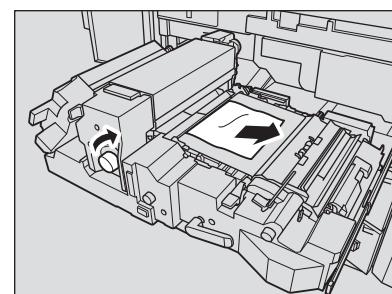
ドラム

定着搬送ユニットを引出したとき、図のように手を入れると、ドラム面に触れることができます。ドラム面に触れて傷を付けないようにしてください。



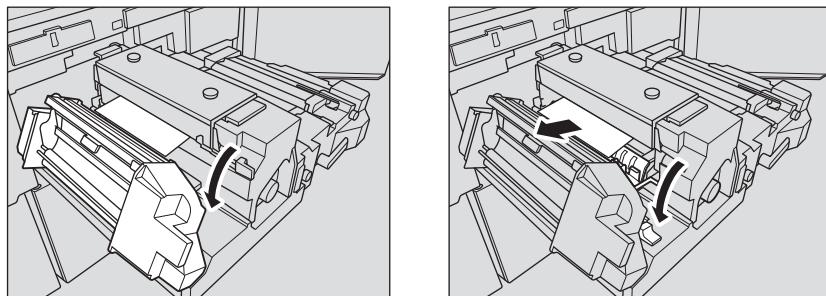
定着部につまつた紙の引出し方向

定着部の右側につまつた紙があるときは、ツマミ [M6] を時計方向に回して、紙を右側に送ってから取除いてください。

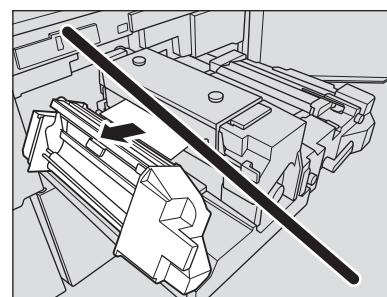




定着部の右側からつまつた紙を取出せないときは、左側から取除いてください。そのときは、レバー [M8] を開き、レバー [M9] を開きます。そして、ツマミ [M6] は回さずに、つまつた紙を左側から取り除いてください。



レバー [M9] を開けないで、つまつた紙を左から取り除かないでください。機械故障の原因になります。

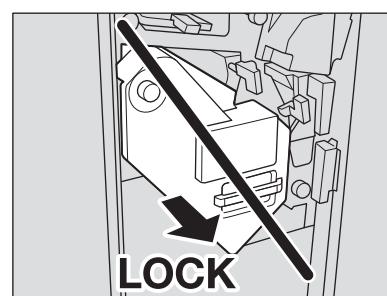


ペーパーフィーダーユニット PF-703 の引出し

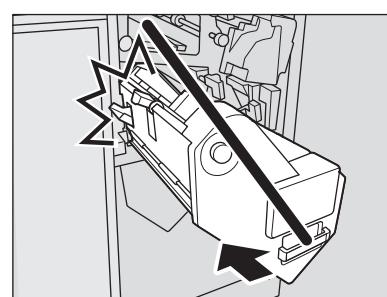
ペーパーフィーダーユニット PF-703 は、用紙を吸引しているため、紙づまりを処理するとき、すぐに引出せないことがあります。少し時間をおいてから引出してください。大容量ポストインサークル PI-PFU も同じ機構ですので、同様にご留意ください。

フィニッシャー FS-532 のスタッカーの引出し、押しもどし

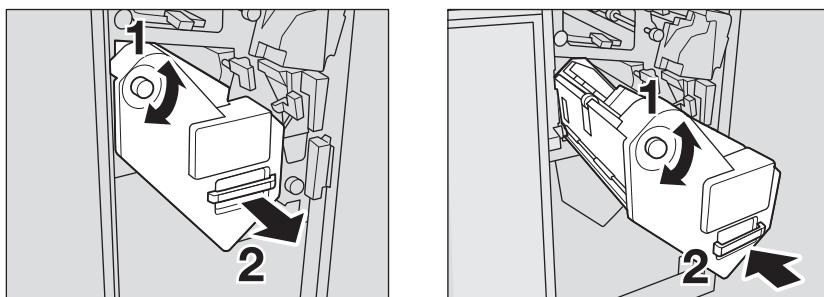
スタッカーを引出そうとしても、ロックがかかって引出せないことがあります。



また、引出されたスタッカーをもとの位置に押しもどそうとしても、もどせないことがあります。



いずれのときも、スタッカーのツマミ [FS8] を回してください。引出したり、押しもどしたりの操作ができるようになります。



⚠ 注意

定着部に手を触れないでください！
やけどをするおそれがあります。

- 定着搬送ユニットを引き出したときは、ご注意ください。また、レバー [M8] やレバー [M9] を開いたときは、高温部が露出しますので、特にご注意ください。

⚠ 注意

本体と定着搬送ユニットとのすき間に、手や腕を入れないでください！
定着搬送ユニットの裏側には、電気部品の接続端子などがあり、触れると故障の原因になります。また、本体と定着搬送ユニットとのすき間に手や腕を入れると、思わぬ事故になることがあります。

- 無理な作業はしないで、サービス実施店にご連絡ください。

⚠ 注意

ADF ヒンジ部（2箇所）に指を入れないでください！
はさまれてけがをすることがあります。

- ADFを開け閉めするときは、ご注意ください。

⚠ 注意

ステープル針はとがっています！
つまつた針でけがをすることがあります。

- 針づまりを処理するときは、針の取扱いにご注意ください。

⚠ 注意

糊タンクユニットに手を触れないでください！
糊タンクユニットは高温になっています。触れるとやけどをするおそれがあります。

- 糊タンクユニットが前に出ている状態でユニットを押込むときは、特にご注意ください。



モアレの発生を防ぐ

モアレは、出力画像にできてしまう模様（干渉縞）のことです。

本機では、MS Office アプリケーションなどで "透過性" を指定したとき、原稿によってはモアレが発生することがあります。

ドライバー機能でモアレを回避するには、以下の3種類の手法があります。

1. スクリーン方式を変更する。(PS Plug-in/PCL ドライバー)

- デフォルトは「写真」(120lpi) です。
これを「文字写真」(170lpi) または「文字」(212lpi) に変更してください。

2. 解像度を変更する。(PS Plug-in/PCL ドライバー)

- デフォルトは 1200dpi です。
これを 600dpi に変更してください。

3. スクリーニング設定で、[スクリーン線数]、[スクリーン角度]、[ドット形状] を変更する。(PS Plug-in ドライバーだけ)

MEMO

- ・スクリーンを変更すると、画質に影響を与えることがあります。ご注意ください。

ToneCurve Utility を使用する

コンピューターから PS Plug-in ドライバーを使って、文書を印刷するとき、ToneCurve Utility を使うと、印刷する文書の明るさやコントラストを調整できます。また登録したトーンカーブは、ネットワーク上の他のコンピューターでも使用することができます。

Check

- ToneCurve Utility で作成し、イメージコントローラーに登録したトーンカーブは、PS Plug-in ドライバーだけで選択して、印刷に使用できます。
- ToneCurve Utility の詳細は、ヘルプファイルをごらんください。

MEMO

- ToneCurve Utility では、テストチャートを印刷して、テストチャートの階調を確認してから、実際の印刷文書を印刷します。

ToneCurve Utility のフローチャート：

1. ToneCurve Utility を起動する。

2. プリンターを選択する。

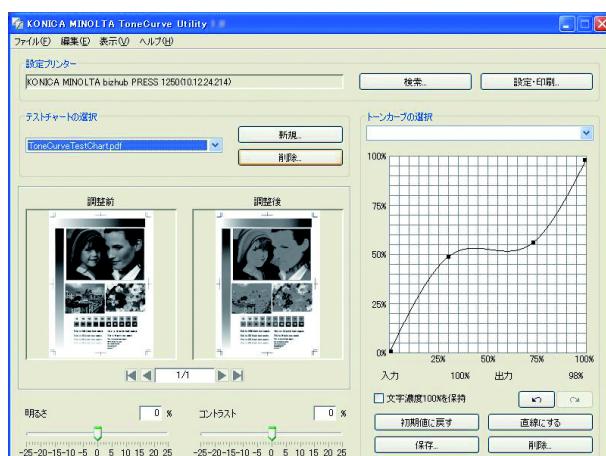
● 任意のテストチャートを使用するとき：手順 3 へ

● 登録済みのテストチャートを使用するとき：手順 4 へ

3. [新規] をクリックしてファイルを選択する。

4. プルダウンリストからテストチャートを選択する。

5. トーンカーブの調整をする。



6. [印刷] をクリックして、テストチャートを確認する。

7. 問題がなければ、トーンカーブを保存して、設定を終了する。

▼ [次ページへ]



8. 実際に印刷したい文書を開いて、PS Plug-in ドライバー画面を表示する。



9. [イメージング] を選択して、[イメージコントローラーデフォルト取得] をクリックする。

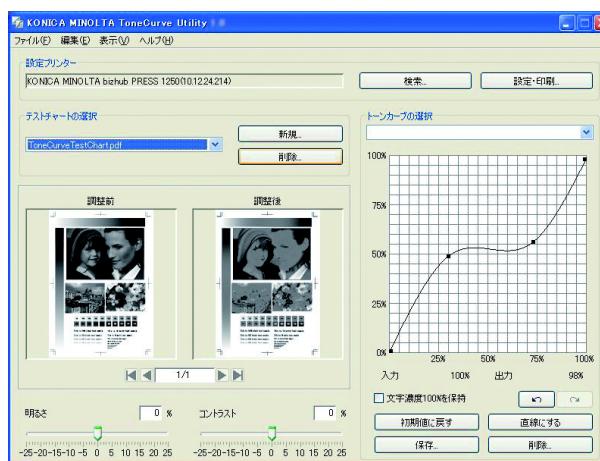


10. [トーンカーブ] を選択する。



11. [OK] をクリックして、[印刷] をクリックする。

ToneCurve Utility のメイン画面



- ・ テストチャートを追加するには、[新規] をクリックしてからファイルを選択します。
- ・ トーンカーブは、[明るさ] / [コントラスト] のスライダーまたはトーンカーブエリアで調整点を、マウスでドラッグ & ドロップして調整します。
- ・ [保存] をクリックして、トーンカーブの設定を保存します。
- ・ トーンカーブの出力値を 100% 未満にしたときだけ [文字濃度 100% 保持] がアクティブになります。[文字濃度 100% 保持] をチェックしないときは、文字の濃度に注意してください。

設定・印刷画面





- トーンカーブを調整して [設定・印刷] をクリックすると、設定印刷画面が表示されます。設定印刷設定画面では、スクリーン設定、印刷設定などを行います。
- [印刷] をクリックすると、確認用の印刷ができます。
- [デフォルト設定] をクリックすると、デフォルトで使用するトーンカーブとスクリーンを指定できます。このデフォルト設定により、PS Plug-in ドライバーでの設定を簡略にできます。
- CIE 色空間にチェックを入れると、XYZ 色空間を経由した色変換処理を行なうため、階調性をあげることができます。出力に時間がかかることがあります。



給紙、排紙のトラブル

紙づまりを起こすことが多いとき、次の調整をすると、少なくなることがあります。

- ・エアーブロー
- ・カール調整
- ・RU カール調整
- ・加湿設定

エアーブロー

エアーブローは、本体トレイ、ペーパーフィーダーユニットトレイ、PI-PFU トレイ、またはくろみ製本機の表紙トレイから給紙するとき、用紙にエアーを吹付けます。給送性が安定することがあります。

設定方法は、1-43 ページをごらんください。

カール調整

カール調整は、出力紙のカールを抑えます。画質が向上したり、給送性が安定したりすることがあります。

調整方法は、1-41 ページをごらんください。

RU カール調整

RU カール調整は、中継搬送ユニット RU-509 を装着した機械で設定できます。

加湿設定

加湿設定は、用紙の表裏を均一に加湿して、用紙のカールを矯正する機能です。RU カール調整画面で設定できます。

Check

- ・中継搬送ユニット RU-509 に加湿キット HM-102 が装着されていないときは、設定できません。



表裏の位置を調整する

両面印刷のオモテ面／ウラ面の画像印字位置にずれがあるときは、それぞれの面に対して、画像の倍率および位置を調整します。

【表裏調整】機能を使う

【表裏調整】機能を使用して、オモテ面／ウラ面の【倍率】（タテ倍／ヨコ倍）および【イメージシフト】（上下／左右）を数値で指定することにより、オモテ面は用紙の位置に対する画像の位置を、ウラ面はオモテ面に対する画像の位置を調整します。

MEMO

- 表裏調整を設定する方法については、「表裏調整を行う（1-29 ページ）」をごらんください。



折り、とじ位置、断裁量を調整する

調整メニュー画面のフィニッシャー調整画面で、折り、とじ位置、断裁量を調整できます。

フィニッシャー調整画面には、以下のような調整項目があります。

後処理装置	調整メニュー画面	
フィニッシャー FS-532	[02 フィニッシャー調整] – [01 平とじ機（メイン）調整]	01 ステープル位置調整 02 ステープル紙幅調整 03 FD 整合板押込み量調整 04 排紙ガイド部材紙幅調整 05 巻き戻しパドル下降量調整 06 巻き戻し機能動作選択 07 グリッパー上動作選択 08 排紙整合板動作選択
フィニッシャー FS-532 + 中とじ機 SD-510	[02 フィニッシャー調整] – [02 平とじ機（折り）調整]	01 中とじピッチ調整 02 中とじ紙幅調整 03 中とじステープル位置調整 04 中とじ折り位置調整 05 中折り折り位置調整 06 三つ折り調整 – 01 三つ折り位置調整 06 三つ折り調整 – 02 2 折りプレート押込み量調整 07 中折り強さ調整
フィニッシャー FS-532 +パンチキット PK-522	[02 フィニッシャー調整] – [03 平とじ機（パンチ）調整]	01 タテ位置調整（通紙交差方向） 02 ヨコ位置調整（通紙方向） 03 レジスト調整
フィニッシャー FS-532 +ポストインサーター PI-502	[02 フィニッシャー調整] – [04 平とじ機（PI）調整]	01 PI レジスト調整
折り機 FD-503	[02 フィニッシャー調整] – [05 マルチ折り機（パンチ）調整] [02 フィニッシャー調整] – [06 マルチ折り機（折り）調整]	01 紙幅調整 02 パンチのタテ位置調整 01 中折り位置調整 02 内三つ折り位置調整 03 外三つ折り位置調整 04 ダブルパラレル折り位置調整 05 Z 折り位置調整 06 観音折り位置調整
大容量スタッカーライナ LS-505	[02 フィニッシャー調整] – [07 スタッカーライナ調整]	01 紙幅調整 02 紙長調整



後処理装置	調整メニュー画面	
中とじ機 SD-506	[02 フィニッシャー調整] – [08 中とじ機位置調整]	01 ステープルセンター位置調整 02 ステープル紙幅調整 03 ステープルピッチ調整 04 中折り位置調整 05 三つ折り位置調整 06 折り紙幅調整 07 断裁量調整 08 受け木調整 – 01 移動断裁回数選択 08 受け木調整 – 02 移動ピッチ選択
くるみ製本機 PB-503	[02 フィニッシャー調整] – [09 くるみ製本機調整]	01 表紙断裁切り量調整 02 表紙先端位置調整 03 表紙角背形成部位置調整 04 糊塗布開始位置調整 05 糊塗布完了位置調整 06 温度設定 07 サブコンパイル部 CD 整合幅調整 08 クランプ部 CD 整合幅調整 09 表紙昇降形成部 CD 整合幅調整 10 クランプ部 FD 整合位置調整
中継搬送ユニット RU-510	[02 フィニッシャー調整] – [10 中継スタッカー(RU)調整]	01 紙幅調整 02 紙長調整



設定がうまく機能しない

ここでは、設定がうまく機能しないときの基本的な対処の流れを説明します。

MEMO

- 各手順の詳細については、対応するユーザーズガイドをごらんください。

ネットワーク接続について

ネットワークについてのトラブルは、以下の手順で対処します。

1. 機械の電源が ON になっていることを確認する。

- 主電源スイッチおよび副電源スイッチが ON になつていれば、次のステップに進みます。



2. ネットワークケーブルの接続を確認する。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



3. 接続先の IP アドレスが正しいことを確認する。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



4. 接続先の IP アドレスへの「ping」を実行して、接続を確認する。

- 例：C:>ping 192.168.0.1
問題がなければ、次のステップに進みます。



5. IP ルーターの設定が正しいことを確認する。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



6. 接続ルートをトレースして、ネットワーク内で問題が発生していないことを確認する。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



7. サービス実施店にお問い合わせください。

その他のトラブルについて

その他の問題があるときは、以下の手順で対処します。

コピー機能の場合

1. 機械の電源が ON になっていることを確認する。

- 主電源スイッチおよび副電源スイッチが ON になっていれば、次のステップに進みます。

2. サービスコール画面が表示されていないことを、確認する。

- サービスコール画面が表示されているときは、電源を OFF/ON します。ON した後に復旧しないときは、手順 6 へ進みます。
問題がなければ、次のステップに進みます。

3. 操作パネルの【スタート】ランプがオレンジ色になっていないことを、確認する。

- 操作パネルの【スタート】ランプがオレンジ色になっているときは、表示されているメッセージに従って問題を解決します。問題がなければ、次のステップに進みます。

4. [機械状態] タブがオレンジ色になっていないことを、確認する。

- [機械状態] タブがオレンジ色になっているときは、表示されているメッセージに従って問題を解決します。
問題がなければ、次のステップに進みます。

5. 操作パネルにその他のメッセージが表示されていないことを、確認する。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。

6. サービス実施店にお問い合わせください。



プリンター機能の場合

1. 機械の電源が ON になっていることを確認する。

- 主電源スイッチおよび副電源スイッチが ON になつていれば、次のステップに進みます。



2. プリンタードライバーがインストールされていることを確認する。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



3. プリンタードライバーのプロパティー画面で、正しい装置情報が取得されていることを確認する。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



4. 「コピー機能の場合 (5-17 ページ)」の手順 2 ~手順 5 を行う。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



5. 「ネットワーク接続について (5-16 ページ)」の手順 2 ~手順 6 を行う。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



6. サービス実施店にお問い合わせください。

スキャナー機能の場合

1. タッチパネルに表示されている [HDD 残量] を確認する。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



2. PageScope Web Connection 画面で、プリンター用 HDD の残量を確認する。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



3. 「ネットワーク接続について (5-16 ページ)」の手順 1 ~手順 6 を行う。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



4. 関連するネットワークの管理者設定が正しく行われていることを、管理者に確認する。

- 問題がなければ、次のステップに進みます。



5. サービス実施店にお問い合わせください。

第 6 章：付録

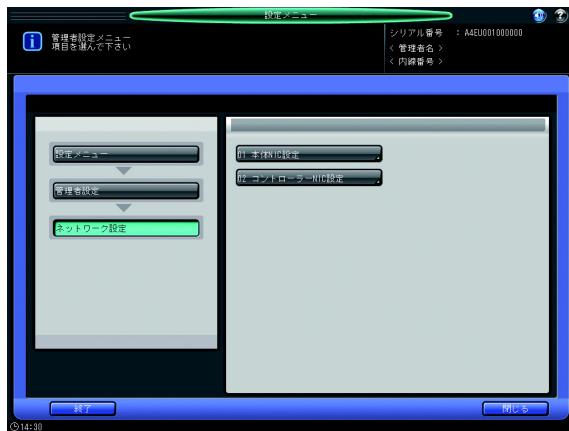
ネットワーク設定、連量／坪量およびオプションの仕様について説明しています。

ネットワーク設定について	6-2
SMB フォルダーの準備について	6-8
坪量／連量換算について	6-9
オプションの仕様	6-10



ネットワーク設定について

本機をプリンターやスキャナーとして使用するときに、必要なネットワーク設定について説明します。



MEMO

- ネットワーク設定画面の詳細については、『ユーザーズガイド POD 管理者編』をご覧ください。

TCP/IP 設定を行う

本機をプリンターとして使うときや、および本機のスキャン機能を使うときに設定します。

1. 操作パネルの【設定メニュー／カウンター】を押す。



2. 【管理者設定】、【ネットワーク設定】、【コントローラー NIC 設定】、【TCP/IP 設定】を順に押す。



3. 「IP 確定方法」で【自動設定】または【直接指定】を選択する。



- 【自動設定】を選択したとき：
手順 4 へ

【次ページへ】

- 【直接指定】を選択したとき：
手順 5 へ

【次ページへ】

4. [自動設定] で、使用するプロトコルの [有効] を選択する。

5. [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を入力する。

6. IPv6 を使用するときは、[次頁] を押して、[IPv6 設定] の [有効] を選択する。

7. [IPv6 自動設定] で、[有効] または [無効] を選択する。

- [有効] を選択したとき：
手順 9 へ

- [無効] を選択したとき：
手順 8 へ

8. [グローバルアドレス] を入力する。

9. [OK] を押す。

10. 必要に応じて、その他の設定を行う。

MEMO

- ・ 設定を変更した項目によっては、本機のスイッチを OFF/ON した後に有効になる旨のメッセージが表示されます。
- ・ 設定の詳細については、『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。



SMB 設定を行う

本機で SMB 印刷機能、および Scan to SMB 機能を使うときに設定します。

1. 操作パネルの【設定メニュー／カウンター】を押す。



2. 【管理者設定】、【ネットワーク設定】、【コントローラー NIC 設定】、【SMB 設定】を順に押す。



3. 【SMB 送信設定】および【プリント設定】の【有効】を選択する。



4. 必要に応じて、その他の設定を行ってから、【OK】を押す。

MEMO

- ・ 設定の詳細については『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。

E-mail 送信設定を行う

本機で Scan to E-mail 機能を使うときに設定します。

1. 操作パネルの【設定メニュー／カウンター】を押す。

2. 【管理者設定】、【ネットワーク設定】、【コントローラー NIC 設定】、【E-mail 設定】を順に押す。

3. 【SMTP 設定】の【有効】を選択する。



4. 【SMTP サーバーアドレス】に、SMTP サーバーのアドレスを入力する。

5. 本機と SMTP サーバーとの通信を SSL で暗号化するときは、【SSL 設定】で【SMTP over SSL】または【STARTTLS】を選択する。

6. 【ポート番号】で、SMTP サーバーのポート番号を入力する。

7. 【次頁】を押す。

▼【次ページへ】



8. POP Before SMTP 認証を行うときは、[POP Before SMTP] の [有効] を選択する。



9. SMTP 認証を行うときは、[SMTP 認証] の [有効] を選択して、[ユーザー ID]、[パスワード]、および [realm] を入力する。



10. [次頁] を押す。

- POP Before SMTP 認証をしないとき：手順 16 へ



- POP Before SMTP 認証をするとき：手順 11 へ



11. [POPサーバーアドレス] に、POP サーバーのアドレスを入力する。



12. [ログイン名]、[パスワード] に、POP サーバーとの通信時に使用するログイン名、およびパスワードを入力する。



▼ [次ページへ]

▼ [次ページへ]

13. APOP認証を使用するときは、[APOP認証]の[有効]を選択する。
14. 本機とPOPサーバーとの通信をSSLで暗号化するときは、[SSL設定]の[有効]を選択する。
15. [ポート番号]に、POPサーバーのポート番号を入力する。
16. [OK]、[閉じる]の順に押す。
17. 管理者設定画面で[管理者登録]を押す。
18. [E-mailアドレス設定]に、管理者Eメールアドレスを入力して、[OK]を押す。
19. 必要に応じて、その他の設定を行う。

MEMO

- 設定の詳細については、『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。



SMB フォルダーの準備について

本機の Scan to SMB 機能を使用して、ご使用のコンピューターの共有フォルダー（SMB フォルダー）にスキャンデータを転送するときは、あらかじめ共有フォルダーを作成しておく必要があります。

Check

- ここでは、Windows 7 のデスクトップに共有フォルダー（SMB フォルダー）を作成する手順について説明します。

デスクトップに共有フォルダーを作成する

1. デスクトップの右クリックメニューから、[新規作成] – [フォルダー] を選択する。



2. 必要に応じて、作成したフォルダーの名前を変更する。



3. 作成したフォルダーの右クリックメニューから、[共有] のロックなしを選択する。



4. [共有アクセス許可の変更] を選択する。



5. テキストボックスに、ファイルを共有するユーザー アカウントを入力して、[追加] をクリックする。



6. 追加したユーザー アカウントの、[アクセス許可のレベル] 列をクリックして表示される一覧から、アクセス許可のレベルを選択する。



7. [共有] をクリックする。

坪量／連量換算について

坪量 (g/m ²)	Bond (lb)	Book (lb)	Bristol (lb)	Cover (Lb)	Index (Lb)
40 - 49 g/m ²	11 -13 lb	27 - 33 lb	18 - 22 lb	15 - 18 lb	22 - 27 lb
50 - 61 g/m ²	14 -16 lb	34 - 41 lb	23 - 28 lb	19 - 23 lb	28 - 34 lb
62 - 74 g/m ²	17 - 20 lb	42 - 50 lb	29 - 34 lb	24 - 27 lb	35 - 41 lb
75 - 91 g/m ²	21 - 24 lb	51 - 61 lb	35 - 42 lb	28 - 34 lb	42 - 50 lb
92 - 135 g/m ²	25 - 36 lb	62 - 91 lb	43 - 62 lb	35 - 50 lb	51 - 75 lb
136 - 162 g/m ²	37 - 43 lb	92 - 109 lb	63 - 74 lb	51 - 60 lb	76 - 90 lb
163 - 216 g/m ²	44 - 57 lb	110 - 146 lb	75 - 99 lb	61 - 80 lb	91 - 119 lb
217 - 244 g/m ²	58 - 65 lb	147 - 165 lb	100 - 111 lb	81 - 90 lb	120 - 135 lb
245 - 300 g/m ²	66 - 80 lb	166 - 203 lb	112 - 137 lb	91 - 111 lb	136 - 166 lb
301 - 350 g/m ²	81 - 93 lb	204 - 237 lb	138 - 160 lb	112 - 129 lb	167 - 194 lb

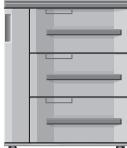
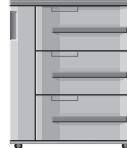
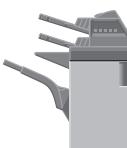
坪量 (g/m ²)	Tag (lb)	A 本判 (kg)	B 本判 (kg)	四六判 (kg)	菊判 (kg)
40 - 49 g/m ²	25 - 30 lb	22 - 27 kg	33 - 40.5 kg	34.5 - 42 kg	24 - 29 kg
50 - 61 g/m ²	31 - 37 lb	27.5 - 33.5 kg	41 - 50.5 kg	42.5 - 52.5 kg	29.5 - 36.5 kg
62 - 74 g/m ²	38 - 45 lb	34 - 40.5 kg	51 - 61.5 kg	53 - 63.5 kg	37 - 44 kg
75 - 91 g/m ²	46 - 56 lb	41 - 50 kg	62 - 75.5 kg	64 - 78 kg	44.5 - 54.5 kg
92 - 135 g/m ²	57 - 83 lb	50.5 - 74 kg	76 - 112 kg	78.5 - 116 kg	55 - 80.5 kg
136 - 162 g/m ²	84 - 100 lb	74.5 - 89 kg	112.5 - 134.5 kg	116.5 - 139 kg	81 - 96.5 kg
163 - 216 g/m ²	101 - 133 lb	89.5 - 119 kg	135 - 179 kg	139.5 - 185.5 kg	97 - 129 kg
217 - 244 g/m ²	134 - 150 lb	119.5 - 134 kg	179.5 - 202.5 kg	186 - 209.5 kg	129.5 - 145.5 kg
245 - 300 g/m ²	151 - 184 lb	134.5 - 165 kg	203 - 249 kg	210 - 258 kg	146 - 179 kg
301 - 350 g/m ²	185 - 215 lb	165.5 - 192.5 kg	249.5 - 290.5 kg	258.5 - 301 kg	179.5 - 209 kg

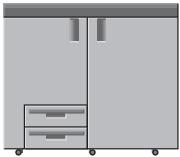
紙の厚みを表す単位には、坪量 (g/m²) と連量 (kg) がありますが、製紙メーカーによって使用している単位が異なります。本機での設定には坪量を使用しますので、連量から坪量に換算した数値を上記の表に示しました。

- 坪量 (g/m²) : 1 m²の用紙 1 枚の質量をグラムで表した単位。
- 連量 (kg) : 所定サイズの用紙 1,000 枚の質量をキログラムで表した単位。

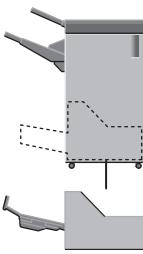
オプションの仕様

主なオプションには、下記のものがあります。

オプション	坪量	枚数	最大用紙サイズ	機能
	上段トレイ、下段トレイ： 40 g/m ² ~ 300 g/m ² 中段トレイ： 40 g/m ² ~ 350 g/m ²	上段トレイ： 1,300 枚 (80 g/m ²) 中段トレイ、下段トレイ： 1,850 枚 (80 g/m ²)	324 mm × 483 mm	給紙
	上段トレイ、下段トレイ： 40 g/m ² ~ 300 g/m ² 中段トレイ： 40 g/m ² ~ 350 g/m ²	2,000 枚 × 3 段 (80 g/m ²)	324 mm × 463 mm	給紙
	上段トレイ、下段トレイ： 40 g/m ² ~ 300 g/m ² 中段トレイ： 40 g/m ² ~ 350 g/m ²	上段トレイ： 1,300 枚 (80 g/m ²) 中段トレイ、下段トレイ： 1,850 枚 (80 g/m ²)	324 mm × 483 mm	カバー用紙挿入
	PI 上段／下段トレイ： 75 g/m ² ~ 216 g/m ² メイントレイ： 40 g/m ² ~ 350 g/m ² 64 g/m ² ~ 216 g/m ² (パンチ) 64 g/m ² ~ 91 g/m ² (パンチ 2 枚重ね) 折りトレイ： 50 g/m ² ~ 130 g/m ² 50 g/m ² ~ 91 g/m ² (ダブルパラレル折り／観音折り)	PI 上段／下段トレイ： 500 枚 × 2 段 (80 g/m ²) メイントレイ： 2,500 枚 (80 g/m ² 、中サイズ用紙) 1,500 枚 (80 g/m ² 、大サイズ用紙) 500 枚 (80 g/m ² 、小サイズ用紙) 折りトレイ： 30 部	PI 上段／下段トレイ： 307 mm × 483 mm メイントレイ： 331 mm × 483 mm 折りトレイ： 305 mm × 458 mm	カバー用紙挿入 パンチ (2 穴 / 3 穴) 中折り 内三つ折り 外三つ折り Z 折り ダブルパラレル折り 観音折り
	スタッカー： 50 g/m ² ~ 244 g/m ² サブトレイ： 50 g/m ² ~ 350 g/m ²	スタッカー： 5,000 枚 (80 g/m ²) 2,000 枚 (B5 両、A5 両) サブトレイ： 200 枚 (80 g/m ²) 20 枚 (Z 折り) 40 枚 (中折り)	スタッカー： 331 mm × 483 mm サブトレイ： 331 mm × 488 mm	水平スタッカー

オプション	坪量	枚数	最大用紙サイズ	機能
 中とじ機 SD-506	サブトレイ： 50 g/m ² ~ 350 g/m ² 折りトレイ： 50 g/m ² ~ 244 g/m ² 三つ折りトレイ： 50 g/m ² ~ 91 g/m ²	サブトレイ： 200 枚 (80 g/m ²) 折りトレイ (中とじ)： 50 部 (2 ~ 10 枚とじ) 30 部 (11 ~ 20 枚とじ) 20 部 (21 ~ 40 枚とじ) 15 部 (41 ~ 50 枚とじ) 折りトレイ (重ね中折り)： 30 部 三つ折りトレイ (重ね三つ折り)： 20 部	サブトレイ： 331 mm × 488 mm 折りトレイ： 324 mm × 463 mm 三つ折りトレイ： A4w、8.5 × 11 口 (定形サイズだけ対応)	中とじ 断裁 重ね中折り 重ね三つ折り
 くるみ製本機 PB-503	表紙トレイ： 82 g/m ² ~ 216 g/m ² 製本トレイ (本身)： 64 g/m ² ~ 91 g/m ² サブトレイ： 40 g/m ² ~ 350 g/m ² 搬送部： 40 g/m ² ~ 350 g/m ²	表紙トレイ： 1,000 枚 (82 g/m ²) 500 枚 (216 g/m ²) 製本トレイ： 6,600 枚相当 (80 g/m ²) 50 部 (10 ~ 30 枚冊子) 35 部 (31 ~ 150 枚冊子) 満タン検知まで (151 ~ 300 枚冊子) サブトレイ： 200 枚 (80 g/m ²) 搬送部： 制限なし	表紙トレイ： 307 mm × 472 mm 製本トレイ： 307 mm × 221 mm サブトレイ： 331 mm × 488 mm 搬送部： 331 mm × 488 mm	くるみ製本
 フィニッシャー FS-532	40 g/m ² ~ 350 g/m ²	サブトレイ： 300 枚 (80 g/m ²) 20 枚 (Z 折り) メイントレイ (中とじ機 SD-510 未装着の場合)： 2,000 枚 (320 mm 以上、72 g/m ² ~ 81 g/m ²) 4,200 枚 (250 ~ 319 mm、72 g/m ² ~ 81 g/m ²) 750 枚 (249 mm 以下、72 g/m ² ~ 81 g/m ²) 50 枚 (Z 折り、64 g/m ² ~ 90 g/m ²) メイントレイ (中とじ機 SD-510 装着の場合)： 2,000 枚 (320 mm 以上、72 g/m ² ~ 81 g/m ²) 3,000 枚 (250 ~ 319 mm、72 g/m ² ~ 81 g/m ²) 750 枚 (249 mm 以下、72 g/m ² ~ 81 g/m ²) 50 枚 (Z 折り、64 g/m ² ~ 90 g/m ²)	サブトレイ： 331 mm × 488 mm メイントレイ： 331 mm × 488 mm	ソート 仕分けソート グループ 仕分けグループ ステープル 仕分けステープル



オプション	坪量	枚数	最大用紙サイズ	機能
 中とじ機 SD-510	中とじ本身： 50 g/m ² ~ 216 g/m ² 中とじ表紙： 50 g/m ² ~ 300 g/m ² 重ね中折り本身： 50 g/m ² ~ 216 g/m ² 重ね中折り表紙： 50 g/m ² ~ 300 g/m ² 重ね三つ折り： 50 g/m ² ~ 105 g/m ²	折りトレイ： <中とじ> 2枚~5枚：35冊 6枚~10枚：25冊 11枚~25枚：15冊 <重ね中折り> 1枚~5枚：35冊 <重ね三つ折り> (紙長 330 mm 未満) 1枚：50冊 2枚：40冊 3枚：30冊	331 mm × 488 mm	中とじ 重ね中折り 重ね三つ折り
 パンチキット PK-522	60 g/m ² ~ 300 g/m ²	フィニッシャー FS-532 のサブトレイ、メイント レイに準ずる	A3 □ (定形サイズ だけ対応)	パンチ (2穴)
 ポストインサー ター PI-502	50 g/m ² ~ 200 g/m ²	上段／下段トレイ： 200枚 (80 g/m ²) × 2段 または 300 mm 以内	上段トレイ： 216 mm × 297 mm 下段トレイ： 314 mm × 458 mm	カバー用紙挿 入 手動ステープ ル、中とじ、 パンチ

MEMO

- 表中のオプションが対応する用紙種類は、普通紙、上質紙、塗工紙、追い刷り紙、書籍用紙、ラフ紙、未印字挿入紙、エンボス紙、インデックス紙、はがきです。各オプションが対応している用紙種類についての詳細は、『ユーザーズガイド コピー編』、または『ユーザーズガイド POD 管理者編』をごらんください。

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》	
販売店名	<hr/>
電話番号	<hr/>
担当部門	<hr/>
担当者	<hr/>

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》	
TEL	<hr/>

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

2012 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

A4EU956000

Printed in China

2012. 4